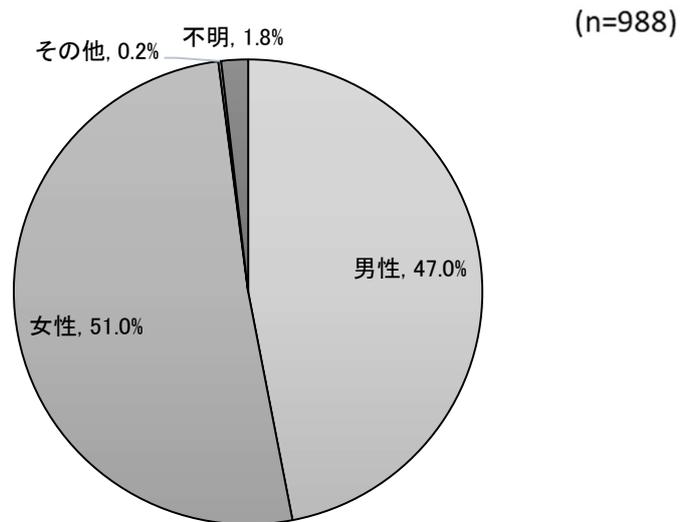


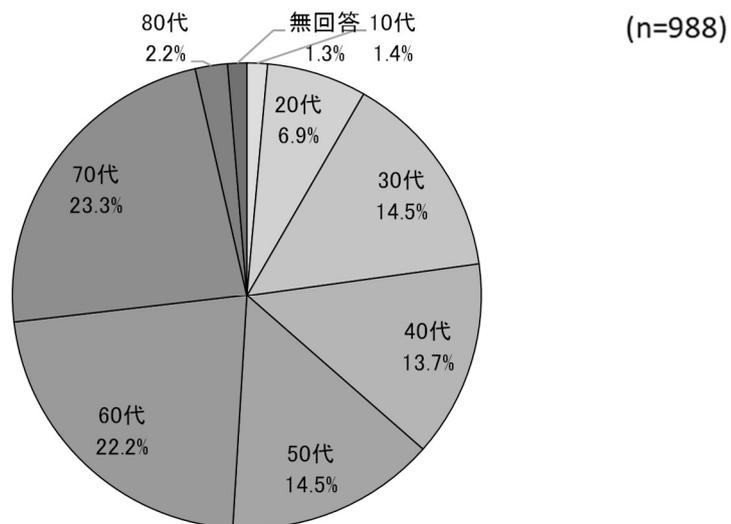
## 第2章 調査結果の報告

### 1. 【回答者の基本属性】

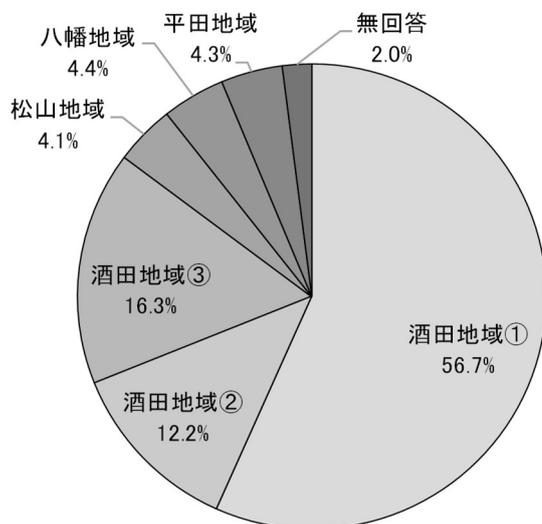
問1 あなたの性別は



問2 年齢



問3 あなたのお住まいの学区または地域



(n=988)

酒田地域①：琢成、浜田、若浜、富士見、亀ヶ崎、松原、松陵、泉

酒田地域②：西荒瀬、平田、鳥海、飛島

酒田地域③：新堀、広野、浜中、黒森、十坂、宮野浦

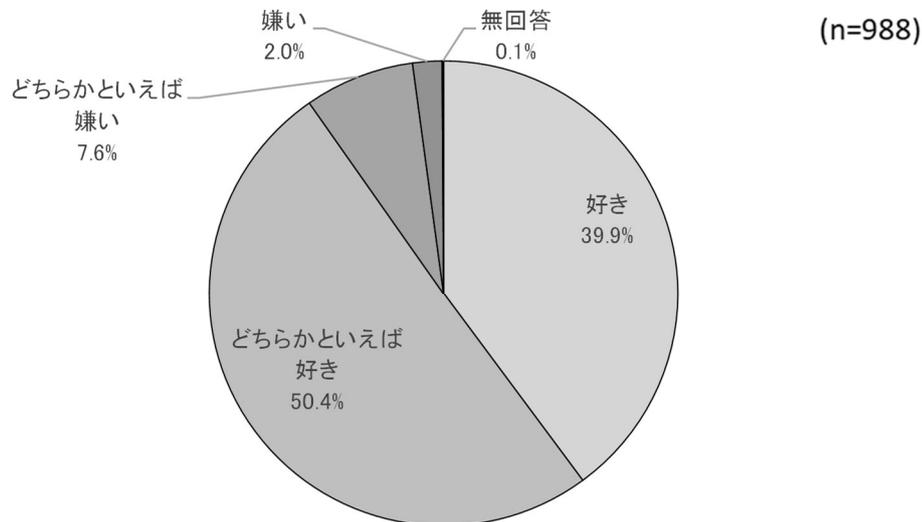
八幡地域：八幡総合支所管内

松山地域：松山総合支所管内

平田地域：平田総合支所管内

## 2. 【酒田市の住みやすさについて】

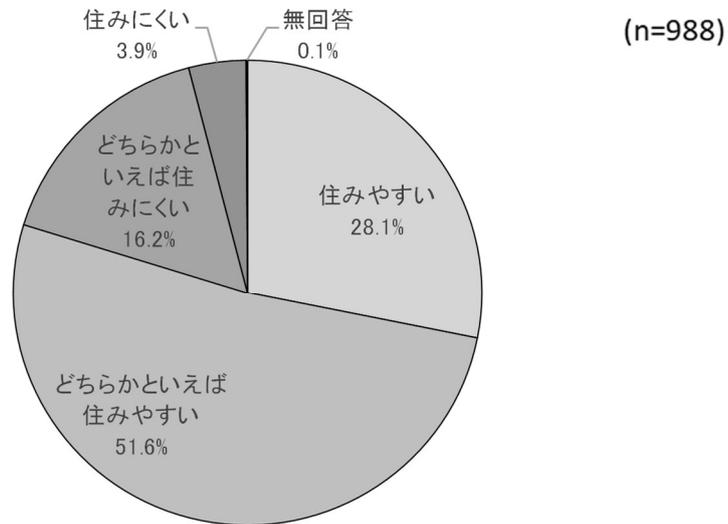
問4 あなたは酒田市が好きですか。



「好き」と「どちらかといえば好き」の合計値である『好き』は90.3%となり、約9割が『好き』となった。「嫌い」と「どちらかといえば嫌い」の合計値は9.6%であり、『嫌い』は1割弱となっている。令和3年度に実施した前回調査ではそれぞれ90.8%、9.0%であり、概ね同様の結果である。

結果を回答者の属性別に見ると、全体的に「どちらかといえば好き」が最も多く、「好き」が続くが、70代、80代は「好き」の回答が最も多い（それぞれ51.3%、50.0%）。また、酒田市が住みやすい、住み続けたいと考えている人も「好き」の回答が多い（それぞれ83.8%、69.0%）。一方、住みにくい、移りたいと回答している人は「好き」や「どちらかといえば好き」が少なく、「嫌い」が多い（それぞれ43.6%、35.6%）。男女別に見ると男性（12.1%）の方が女性（7.1%）と比べて『嫌い』の回答が多い。年代別では30代と40代のみ『嫌い』の回答が1割を超えている（それぞれ18.1%、12.6%）

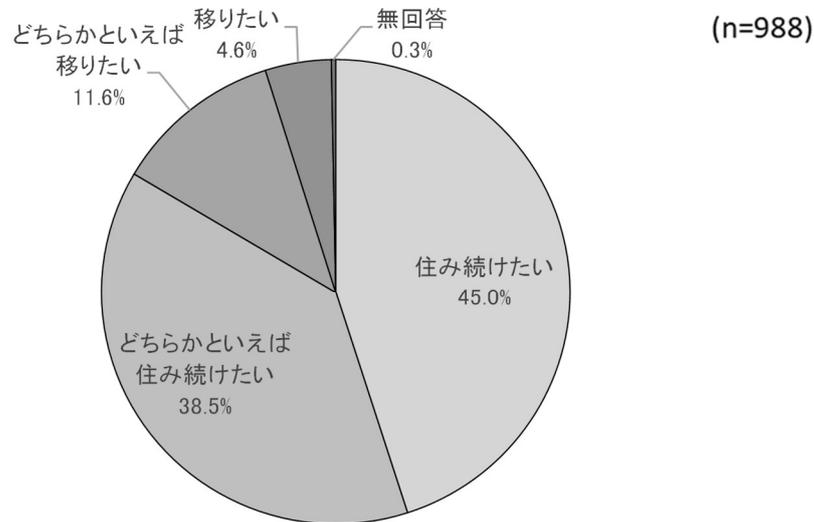
問5 あなたは酒田市が住みやすいと思いますか。



「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計値『住みやすい』は 8 割弱 (79.8%) となった。「住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」の合計値である『住みにくい』は約 2 割 (20.1%) となっている。令和 3 年度に実施した前回調査ではそれぞれ 78.5%、18.0%であり、肯定的な評価が約 1 ポイント、否定的な評価が約 2 ポイント、いずれも増加している。これは、前回調査にあった「わからない」の選択肢を今回は除外したことによる。

結果を回答者の属性別に見ると、年齢別では 70 代、80 代のみ「住みやすい」が 3 割を超えている (順に 35.2%、40.9%)。一方、30 代のみ「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」の合計値の『住みにくい』が 3 割を超えている (32.6%)。また、居住地域別では松山地域のみ『住みにくい』が 3 割を超えている (34.2%)。酒田市が好き、住み続けたいと考えている人は「住みやすい」の回答が多く (それぞれ 59.1%、54.2%)、嫌い、移りたいと回答している人は「住みにくい」の回答が多い (それぞれ 85.0%、47.8%)。

問6 あなたは酒田市に住み続けたいと思いますか。



「住み続けたい」が 45.0%と高く、次いで「どちらかといえば住み続けたい」が 38.5%となり、合計値である『住み続けたい』は 83.5%となり 8 割を上回った。「移りたい」は 4.6%、「どちらかといえば移りたい」は 11.6%であり、合計値の『移りたい』は 16.19%である。令和 3 年度に実施した前回調査における合計値はそれぞれ 79.9%、14.3%であり、いずれも 2~3 ポイント増加している。双方とも増加したのは前回調査に含まれた「わからない」の選択肢を今回は設定しなかったことによるものである。

結果を回答者の属性別に見ると、年齢階級が上がるほど「住み続けたい」の回答が増加している。20 代は 26.5%であり、70 代では 63.5%となっている。一方、20 代、30 代、40 代では『移りたい』が 3 割を超えている（順に 42.9%、30.9%、31.25%）。居住地域別に見ると「住み続けたい」の回答が全体に比べ、八幡地域は 10 ポイント以上高く（58.1%）、松山地域は 8 ポイント程度低い（36.6%）。また酒田市が好き、住みやすいと考えている人は「住み続けたい」の回答が多く（それぞれ 77.9%、86.1%）、嫌い、住みにくいと回答している人は「移りたい」の回答が多い（それぞれ 80.0%、56.4%）。

問7 あなたは、以下の酒田市の都市環境等について、どの程度満足していますか。もしくは不満がありますか。

	満足している	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満がある	無回答
(n=988)					
1 自然環境の豊かさ	56.6%	35.3%	5.6%	1.4%	0.1%
2 住宅事情	27.2%	46.6%	18.4%	6.4%	1.4%
3 交通の便	8.1%	26.1%	37.6%	27.4%	0.8%
4 買い物の便利さ	15.3%	38.7%	29.8%	15.5%	0.8%
5 物価の安さ	6.7%	34.6%	38.2%	19.4%	1.1%
6 新鮮でおいしい食べ物の豊富さ	42.9%	45.4%	8.4%	2.0%	0.3%
7 スポーツ・レジャー施設の充実	5.4%	28.9%	39.4%	24.5%	1.8%
8 芸術・文化水準	7.3%	40.7%	36.5%	13.5%	2.0%
9 教育環境	7.3%	45.2%	34.7%	10.4%	2.3%
10 子育てのしやすさ	6.6%	47.1%	30.8%	11.8%	3.7%
11 就業機会の多さ	2.1%	20.7%	46.0%	28.9%	2.2%
12 医療機関の充実	13.4%	45.0%	26.8%	13.5%	1.3%
13 福祉の充実	7.7%	45.6%	34.4%	9.5%	2.7%
14 地域住民の連帯感の強さ	9.1%	51.7%	29.0%	8.6%	1.5%
15 自然災害の少なさ	39.9%	50.5%	7.0%	1.6%	0.1%
16 街並みや景観の美しさ	19.7%	52.0%	22.0%	4.9%	1.4%
17 公園や緑が多い	23.3%	53.6%	18.3%	3.7%	0.1%
18 中心市街地や駅前のにぎわい	1.8%	13.5%	41.5%	41.8%	1.4%
19 歴史的建造物や伝統行事が残っている	13.6%	57.4%	21.4%	6.8%	0.9%

(1) 自然環境の豊かさ

自然環境の豊かさについては、「満足している」が 56.6%、次いで「どちらかといえば満足」が 35.3%となり、合計値の『満足』は 91.9%と 9 割を超えた。「不満がある」は 1.42%、「どちらかといえば不満」は 5.6%であり、合計値の『不満』は 7.0%である。令和 3 年度に実施した前回調査では満足の合計値は 90.9%、不満の合計値は 3.9%であり、『満足している』は 1 ポイント増加に対し、『不満がある』は 3 ポイント増加した。

結果を回答者の属性別に見ると、居住地域別では、「満足している」の回答が酒田地域③でやや多く（49.1%）、八幡地域がやや少ない（65.1%）。酒田市が好き、住みやすい、住み続けたいと考えている人は「満足している」の回答が多く（順に 77.2%、79.5%、71.9%）、嫌い、住みにくい、移りたいと回答している人でも「満足している」の回答率が他の項目と比べると多い（順に 55.0%、43.6%、46.7%）。

(2) 住宅事情

住宅事情については、「満足している」が 27.2%、「どちらかといえば満足」が

46.6%となり、合計値の『満足』は73.8%と7割を超えた。「不満がある」は6.4%、「どちらかといえば不満」は18.4%であり、合計値の『不満』は24.8%である。令和3年度に実施した前回調査では満足の合計値は69.0%、不満の合計値は22.7%であり、いずれも増加しているが、『満足』の方がより増加している。

結果を回答者の属性別にみると、居住地域別では松山地域の『満足』が少ない(61.0%)。また、酒田市が好き、住みやすい、住み続けたいと考えている人は「満足している」の回答が多く(順に46.7%、52.7%、43.7%)、嫌い、住みにくい、移りたいと回答している人は「移りたい」の回答が多い(順に65.0%、41.0%、33.3%)。

### (3) 交通の便

交通の便については、「満足している」が8.10%、「どちらかといえば満足」が26.1%となり、合計値の『満足』は34.2%であり、3割強に留まった。「不満がある」は27.4%、「どちらかといえば不満」は37.6%であり、合計値の『不満』は65.0%である。令和3年度に実施した前回調査では満足の合計値は31.4%、不満の合計値は64.2%であり、『満足』が3ポイント強増加しているが、依然として不満の回答が多い。

結果を回答者の属性別に見ると、「不満がある」の回答が全体の27.4%に対して、居住地域別では10ポイント以上高いのが、酒田市域②(38.0%)、松山地域(53.7%)、八幡地域(39.5%)であった。酒田市が好き、住みやすい、住み続けたいと考えている人は「不満がある」の回答が少なく(順に19.04%、14.18%、16.18%)、嫌い、住みにくい、移りたいと回答している人は「不満がある」の回答が多い(順に75.0%、76.9%、66.7%)。

### (4) 買い物の便利さ

買い物の便利さについては、「満足している」が15.3%、「どちらかといえば満足」が38.7%となり、合計した『満足』は54.0%と約5割となった。「不満がある」は15.5%、「どちらかといえば不満」は29.8%であり、合計した『不満』は45.3%である。『満足』が『不満』を上回った。

令和3年度に実施した前回調査では『満足』は55.7%、『不満』は40.0%であり、ほぼ変化は見られない。

結果を回答者の属性別に見ると、酒田市が好き、住みやすい、住み続けたいと考えている人が「満足している」と回答した割合(それぞれ15.7%、20.1%、13.0%)が、嫌い、住みにくい、移りたいと考えている人が「満足している」と回答した割合(それぞれ5.0%、2.6%、6.7%)をそれぞれ上回っている。

地域による差が現れており、松山地域では『満足』(17.1%)『不満』(83.0%)と、

『不満』が他地域と比べて高かった。

#### (5) 物価の安さ

物価の安さについては、「満足している」が 6.7%、「どちらかといえば満足」が 34.6%となり、合計した『満足』は 41.3%と約 4 割となった。「不満がある」は 19.4%、「どちらかといえば不満」は 38.2%であり、合計した『不満』は 57.6%である。『不満』が『満足』を上回った。

令和3年度に実施した前回調査では『満足』は54.9%、『不満』は33.1%であり、『満足』が 14 ポイントほど減少し、『不満』が 25 ポイントほど増加している。

結果を回答者の属性別に見ると、酒田市が好き、住みやすい、住み続けたいと考えている人が「満足している」と回答した割合はそれぞれ 12.7%、18.4%、10.6%であったが、嫌い、住みにくい、移りたいと考えている人が「満足している」と回答した割合はいずれも 0%であった。

#### (6) 新鮮でおいしい食べ物の豊富さ

新鮮でおいしい食べ物の豊富さについては、「満足している」が 42.9%、「どちらかといえば満足」が 45.4%となり、合計した『満足』は 88.3%と約 9 割となった。「不満がある」は 2.4%、「どちらかといえば不満」は 8.4%であり、合計した『不満』は 10.8%である。『満足』が約 9 割となっており、満足度が極めて高いことがうかがえる。

令和3年度に実施した前回調査では『満足』は 90.1%、『不満』は 5.8%であり、引き続き『満足』が極めて高い状態となった。

結果を回答者の属性別に見ると、酒田市が好き、住みやすい、住み続けたいと考えている人が「満足している」と回答した割合（それぞれ 61.1%、64.3%、55.1%）が、嫌い、住みにくい、移りたいと考えている人が「満足している」と回答した割合（それぞれ 30.0%、20.5%、28.9%）をそれぞれ上回っている。

#### (7) スポーツ・レジャー施設の充実

スポーツ・レジャー施設の充実については、「満足している」が 5.4%、「どちらかといえば満足」が 28.9%となり、合計した『満足』は 34.3%と約 3 割となった。「不満がある」は 24.5%、「どちらかといえば不満」は 39.4%であり、合計した『不満』は 63.9%である。『不満』が『満足』を大きく上回った。

令和3年度に実施した前回調査では『満足』は30.1%、『不満』は55.2%であり、『不満』が 9 ポイントほど増加している。

結果を回答者の属性別に見ると、酒田市が好き、住みやすい、住み続けたいと考えている人が「満足している」と回答した割合（それぞれ 10.7%、13.0%、8.3%）

が、嫌い、住みにくい、移りたいと考えている人が「満足している」と回答した割合（それぞれ0%、0%、2.2%）をそれぞれ上回っている。

年代による差が現れており、70代では『満足』（46.9%）、『不満』（48.7%）となり、他の年代に比べて満足が多く不満が少なかった。

#### （8）芸術・文化水準

芸術・文化水準については、「満足している」が7.3%、「どちらかといえば満足」が40.7%となり、合計した『満足』は48.0%と約5割となった。「不満がある」は13.5%、「どちらかといえば不満」は36.5%であり、合計した『不満』は50.0%である。『不満』が『満足』を上回った。

令和3年度に実施した前回調査では『満足』は41.3%、『不満』は36.2%であり、『満足』が7ポイントほど増加したが、『不満』も14ポイントほど増加している。

結果を回答者の属性別に見ると、酒田市が好き、住みやすい、住み続けたいと考えている人が「満足している」と回答した割合（それぞれ11.9%、13.7%、10.3%）、嫌い、住みにくい、移りたいと考えている人が「満足している」と回答した割合（それぞれ10.0%、7.7%、11.1%）とあまり差は見られなかった。

年代による差が現れており、10代以下では『満足』（64.3%）、『不満』（35.7%）、20代以下では『満足』（66.2%）、『不満』（32.4%）と、若年層において『満足』の割合が他年代と比べて高かった。

地域による差が現れており、八幡地域では『満足』（30.2%）、『不満』（69.8%）と、他地域と比べて『満足』の割合が低く、『不満』の割合が高かった。

#### （9）教育環境

教育環境については、「満足している」が7.3%、「どちらかといえば満足」が45.2%となり、合計した『満足』は52.5%と約5割となった。「不満がある」は10.4%、「どちらかといえば不満」は34.7%であり、合計した『不満』は45.1%である。

令和3年度に実施した前回調査では『満足』は40.2%、『不満』は37.2%であり、『満足』は12ポイントほど増加しているが、『不満』も8ポイントほど増加している。

結果を回答者の属性別に見ると、酒田市が好き、住みやすい、住み続けたいと考えている人が「満足している」と回答した割合（それぞれ12.4%、16.2%、12.4%）が、嫌い、住みにくい、移りたいと考えている人が「満足している」と回答した割合（それぞれ0%、2.6%、11.1%）をそれぞれ上回っている。

地域による差が現れており、平田地域では『満足』（69.0%）、『不満』（28.6%）と、『満足』の割合が他地域と比べて高かった。

#### (10) 子育てのしやすさ

子育てのしやすさについては、「満足している」が 6.6%、「どちらかといえば満足」が 47.1%となり、合計した『満足』は 53.7%と 5 割強となった。「不満がある」は 11.8%、「どちらかといえば不満」は 30.8%であり、合計した『不満』は 42.6%である。令和 3 年度に実施した前回調査では『満足』は 43.7%、『不満』は 29.3%であり、『満足』は 10 ポイントの増加に対し、『不満』は 13.3 ポイント増加した。

結果を回答者の属性別に見ると、酒田市が好き、住みやすい、住み続けたいと考えている人が「満足している」と回答した割合（それぞれ 12.9%、15.5%、11.9%）が、嫌い、住みにくい、移りたいと回答している人が「満足している」と回答した割合（それぞれ 5.0%、0.0%、2.2%）をそれぞれ上回っている。

#### (11) 就業機会の多さ

就業機会の多さについては、「満足している」が 2.1%、「どちらかといえば満足」が 20.7%となり、合計した『満足』は 22.8%と 2 割強となった。「不満がある」は 28.9%、「どちらかといえば不満」は 46.0%であり、合計した『不満』は 74.9%である。令和 3 年度に実施した前回調査では『満足』は 18.0%、『不満』は 63.7%であり、『満足』は 4.8 ポイントの増加に対し、『不満』は 11.2 ポイント増加した。

結果を回答者の属性別に見ると、酒田市が好き、住みやすい、住み続けたいと考えている人が「満足している」と回答した割合（それぞれ 4.3%、4.7%、3.4%）が、嫌い、住みにくい、移りたいと回答している人が「満足している」と回答した割合（それぞれ 0.0%、0.0%、0.0%）をそれぞれ上回っている。

#### (12) 医療機関の充実

医療機関の充実については、「満足している」が 13.4%、「どちらかといえば満足」が 45.0%となり、合計した『満足』は 58.4%と 6 割弱となった。「不満がある」は 13.5%、「どちらかといえば不満」は 26.8%であり、合計した『不満』は 40.3%である。令和 3 年度に実施した前回調査では『満足』は 60.0%、『不満』は 32.0%であり、『満足』は 1.6 ポイントの増加に対し、『不満』は 8.3 ポイント増加している。

結果を回答者の属性別に見ると、酒田市が好き、住みやすい、住み続けたいと考えている人が「満足している」と回答した割合（それぞれ 20.6%、23.4%、17.1%）が、嫌い、住みにくい、移りたいと回答している人が「満足している」と回答した割合（それぞれ 20.0%、12.8%、13.3%）をそれぞれ上回っている。

#### (13) 福祉の充実

福祉の充実については、「満足している」が 7.7%、「どちらかといえば満足」が 45.6%となり、合計した『満足』は 53.3%と 5 割強となった。「不満がある」は

9.5%、「どちらかといえば不満」は 34.4%であり、合計した『不満』は 43.9%である。令和 3 年度に実施した前回調査では『満足』は 44.6%、『不満』は 31.7%であり、『満足』は 8.7 ポイントの増加に対し、『不満』は 12.2 ポイント増加している。

結果を回答者の属性別に見ると、酒田市が好き、住みやすいと考えている人が「満足している」と回答した割合（それぞれ 12.7%、16.9%）が、嫌い、住みにくいと回答している人が「満足している」と回答した割合（それぞれ 5.0%、5.1%）をそれぞれ上回っている。

#### （14）地域住民の連帯感の強さ

地域住民の連帯感の強さについては、「満足している」が 9.1%、「どちらかといえば満足」が 51.7%となり、合計した『満足』は 60.8%と約 6 割となった。「不満がある」は 8.6%、「どちらかといえば不満」は 29.0%であり、合計した『不満』は 37.6%である。令和 3 年度に実施した前回調査では『満足』は 50.7%、『不満』は 28.2%であり、『満足』は 10.1 ポイント増加し、『不満』に変化は見られない。

結果を回答者の属性別に見ると、酒田市が好き、住みやすい、住み続けたいと考えている人が「満足している」と回答した割合（それぞれ 16.2%、21.2%、13.7%）が、嫌い、住みにくい、移りたいと回答している人が「満足している」と回答した割合（それぞれ 5.0%、7.7%、11.1%）をそれぞれ上回っている。

#### （15）自然災害の少なさ

自然災害の少なさについては、「満足している」が 39.9%、「どちらかといえば満足」が 50.5%となり、合計した『満足』は 90.4%と約 9 割となった。「不満がある」は 1.6%、「どちらかといえば不満」は 7.0%であり、合計した『不満』は 8.6%である。令和 3 年度に実施した前回調査では『満足』は 82.5%、『不満』は 9.6%であり、『満足』は 7.9 ポイント増加し、『不満』は 1 ポイント減少した。

結果を回答者の属性別に見ると、住みやすい、住み続けたいと考えている人が「満足している」と回答した割合（それぞれ 54.3%、49.4%）が、嫌い、住みにくい、移りたいと回答している人が「満足している」と回答した割合（それぞれ 30.8%、46.7%）をそれぞれ上回っている。

#### （16）街並みの景観や美しさ

街並みの景観や美しさについては、「どちらかといえば満足」が 52.0%、次いで「満足している」が 19.7%となり、合計値の『満足』は 71.7%と約 7 割であった。「どちらかといえば不満」は 22.0%、「不満がある」は 4.9%であり、合計値の『不満』は 26.9%である。令和 3 年度に実施した前回調査では満足の合計値は 66.4%、不満の合計値は 25.3%であり、『満足』は 5 ポイント増加に対し、『不満』は 1.5 ポイ

ント増加した。

結果を回答者の属性別に見ると、居住地域別では、「満足している」の回答が平田地域でやや多く（26.2%）、酒田地域③が少ない（13.7%）。酒田市が好き、住みやすい、住み続けたいと考えている人は「満足している」の回答が多い（順に 31.5%、35.6%、29.0%）、嫌い、住みにくい、移りたいと回答している人の「満足している」の回答率が全体よりやや低かった（順に 15.0%、15.4%、17.8%）。

#### （17）公園や緑が多い

公園や緑が多いについては、「どちらかといえば満足」が 53.6%、次いで「満足している」が 23.3%となり、合計値の『満足』は 76.9%と約7割を超えていた。「どちらかといえば不満」は 18.3%、「不満がある」は 3.7%、であり、合計値の『不満』は 22.0%である。令和 3 年度に実施した前回調査では満足の合計値は 75.2%、不満の合計値は 17.9%であり、『満足』は 1.7 ポイント、『不満』も 4.2 ポイントそれぞれが増加した。

結果を回答者の属性別に見ると、居住地域別では、「満足している」の回答が平田地域で多く（31.0%）、松山地域が少ない（14.6%）。酒田市が好き、住みやすい、住み続けたいと考えている人は「満足している」の回答が多い（順に 36.6%、39.9%、32.4%）、嫌い、住みにくい、移りたいと回答している人の中では、住みにくいと答えた人の「満足している」の回答率が 12.8%と低い。

#### （18）中心市街地や駅前のにぎわい

中心市街地や駅前の賑わいについては、「どちらかといえば満足」が 13.5%、次いで「満足している」が 1.8%となり、合計値の『満足』は 15.3%である。「不満がある」が 41.8%、「どちらかといえば不満」は 41.5%、合計値の『不満』は 83.3%で、他の項目より多かった。令和 3 年度に実施した前回調査では満足の合計値は 9.6%、不満の合計値は 82.0%であり、『満足している』は 5.7 ポイント、『不満がある』も 1.3 ポイントそれぞれが増加した。

結果を回答者の属性別に見ると、居住地域別では、「満足している」の回答が酒田地域①がわずかで（2.3%）、松山地域、八幡地域、平田地域は回答者がいなかった。酒田市が嫌い、住みにくい、移りたいと回答している人の「不満がある」の回答率が多く（順に 90.0%、82.1%、68.9%）好き、住みやすい、住み続けたいと考えている人でも「不満がある」の回答が多い（順に 32.0%、31.7%、33.3%）。

#### （19）歴史的建造物や伝統行事が残っている

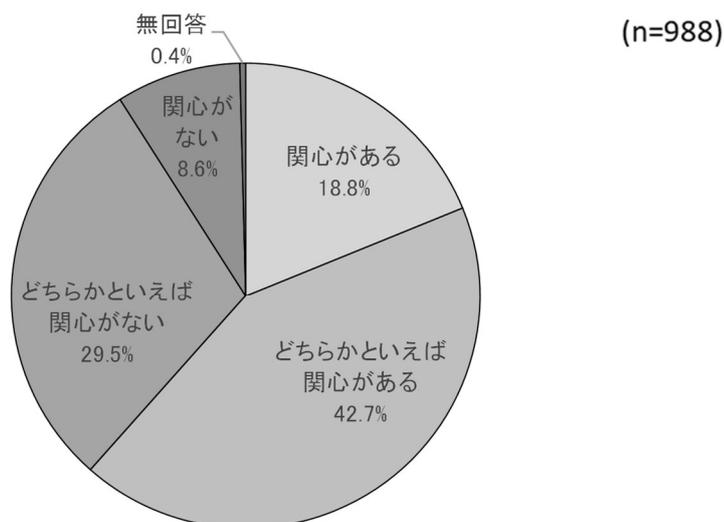
歴史的建造物や伝統行事が残っているについては、「どちらかといえば満足」が 57.4%、次いで「満足している」が 13.6%となり、合計値の『満足』は 71.0%と 7

割だった。「どちらかといえば不満」は21.4%、「不満がある」は6.8%、であり、合計値の『不満』は28.2%である。令和3年度に実施した前回調査では満足の合計値は63.0%、不満の合計値は20.7%であり、『満足』は3.64ポイント減少し、『不満』は1.38ポイント増加した。

結果を回答者の属性別に見ると、居住地域別では、「満足している」の回答が八幡地域で多く(25.6%)、平田地域が少ない(16.7%)。酒田市が好き、住みやすい、住み続けたいと考えている人は「満足している」の回答より(順に15.2%、13.0%、16.0%)、「不満がある」の回答が多い(順に21.1%、23.0%、17.8%)。嫌い、住みにくい、移りたいと回答している人の中で、好きと答えた人の「満足している」の回答率が15.0%と低い。

### 3. 【総合計画の成果指標項目について】

問8 あなたは、酒田市の市政（事業・取り組み）に関心がありますか。

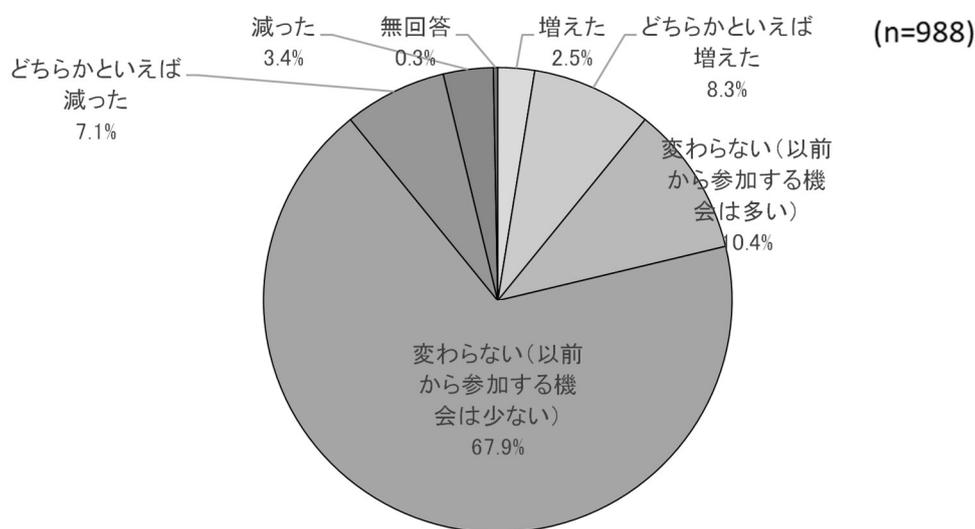


酒田市の市政（事業・取り組み）に関心については、「どちらかといえば関心がある」が42.7%と高く、次いで、「関心がある」が18.8%で、合計値である『関心がある』は61.5%となり6割程度だった。「どちらかといえば関心がない」が29.5%、「関心がない」は8.6%となり、合計値の『関心がない』は38.1%である。令和3年度に実施した前回調査にはなかった項目である。

結果を回答者の属性別に見ると、年齢階級では70代、80代の「関心がある」の回

答が多い（順に25.2%、22.7%）。一方、10代、20代、30代の「関心がない」の回答が多い（順に21.4%、19.1%、16.0%）。居住地域別に見ると酒田地域③の「関心がある」の回答が全体より2.2ポイント多く（21.1%）、八幡地域は4.9ポイント低い（14.0%）。また酒田市が好き、住みやすい、住み続けたいと考えている人は「関心がある」の回答が全体より多く（それぞれ28.7%、29.5%、24.7%）、嫌い、住みにくい、移りたいと回答している人は「関心がない」の回答が多い（それぞれ40.0%、28.2%、37.8%）。

問9 あなたは、酒田市の市政（事業・取り組み）に参画（参加）する機会がこれまでと比べて増えてきたと思いますか。

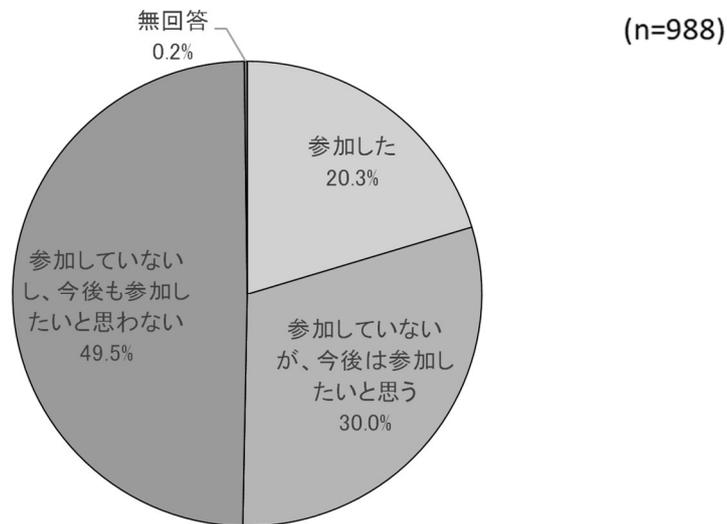


市政(事業・取り組み)に参画(参加)する機会について、「どちらかといえば減った」は7.1%、「減った」は3.4%であり、合計値の『減った』は10.5%であり、全体で最も多い「変わらない(以前から参加する機会は少ない)」が67.9%を加えると、参画していない割合は78.4%と8割弱となった。「どちらかといえば増えた」が8.3%、次いで「増えた」が2.5%となり、合計値の『増えた』は10.8%と1割であり、「変わらない(以前から参加する機会は多い)」の10.4%も加えると参画している割合は2割である。令和3年度に実施した前回調査における合計値は『減った』が13.2%で2.7ポイント減少し、「変わらない(以前から参加する機会は少ない)」が56.1%で11.8ポイント増加した。『増えた』が9.3%で1.5ポイント増加し、「変わらない(以前から参加する機会は多い)」は6.3%で4.1ポイント増加している。

結果を回答者の属性別に見ると、年齢階級では10代が『増えた』の回答が最も多く21.43%、次いで、40代が14.81%となっている。10代、80代、60代では

『減った』が多い（順に 7.1%、4.6%、4.6%）。また、「変わらない（以前から参加する機会が多い）」は 70 代、10 代が最も多く（順に 14.8%、14.3%）、「変わらない（以前から参加する機会が少ない）」では 50 代、20 代が多い（75.5%、75.0%）。居住地別に見ると合計値の『増えた』の回答は平田地域が最も多く 21.4%、全体に比べ 10 ポイント高かった。『減った』の回答は松山地域が最も多く 9.8%で、全体に比べ 6 ポイント高かった。また酒田市が好き、住みやすい、住み続けたいと考えている人は『増えた』の回答が多く（それぞれ 14.5%、17.3%、13.7%）、嫌い、住みにくい、移りたいと回答している人は『減った』の回答が少ない（それぞれ 5.0%、5.1%、6.7%）。

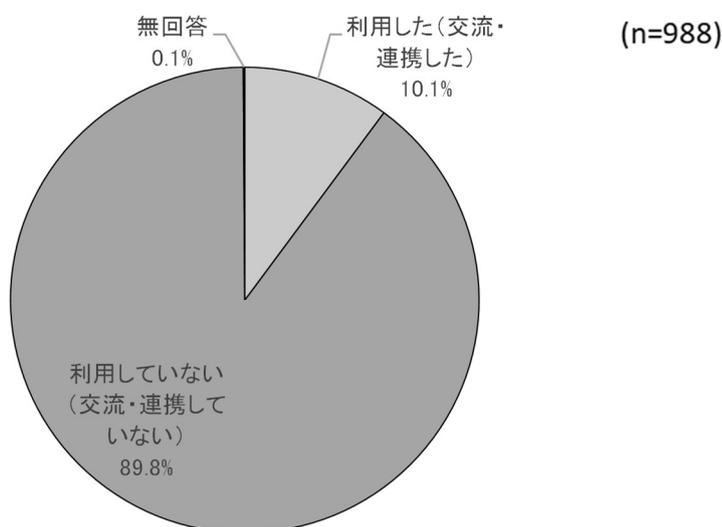
問10 あなたは、過去1年（令和5年4月から令和6年3月まで）に、ボランティア活動や市民活動に参加しましたか。



ボランティア活動や市民活動について、「参加していない」と回答したのは79.5%、このうち、「今後も参加したいと思わない」が49.5%、「今後は参加したいと思う」が30.0%である。「参加した」と回答したのは20.3%である。令和3年度に実施した前回調査では「参加していない」が67.1%で12.4ポイント減少し、「今後も参加したいと思わない」が39.2%で10.3ポイント増加し、「今後は参加したいと思う」が27.9%で2.1ポイント増加した。「参加した」が19.5%で0.8ポイント増加している。

年齢階級では20代が「参加していない」の回答が最も多く92.7%、「今後も参加したいと思わない」が66.2%で最も多い。「今後は参加したいと思う」の回答が多いのは10代で50.0%。70代が「参加した」の回答が最も多く27.8%である。居住地域では、「参加していない」が酒田地域①が81.8%と最も多い。「今後参加したいと思う」は酒田地域③が33.5%と多く、「今後参加したいと思わない」は松山地域が63.4%と多い。「参加した」は、平田地域35.7%である。また酒田市が好き、住みやすい、住み続けたいと考えている人は「参加した」の回答が全体より多く（順に26.1%、25.5%、25.2%）、「今後は参加したいと思う」の回答も全体より多い（順に34.3%、33.5%、30.6%）。嫌い、住みにくい、移りたいと回答している人は「参加していない」の回答が全体より多く（順に95.0%、92.3%、86.7%）、「今後は参加したいと思う」の回答が全体より少ない（順に0.0%、15.4%、11.1%）。

問11 あなたは、過去1年（令和5年4月から令和6年3月まで）に、東北公益文科大学を利用しましたか。（施設の利用や教員・学生との交流や連携を含む。鶴岡市の大学院施設等を含む。）

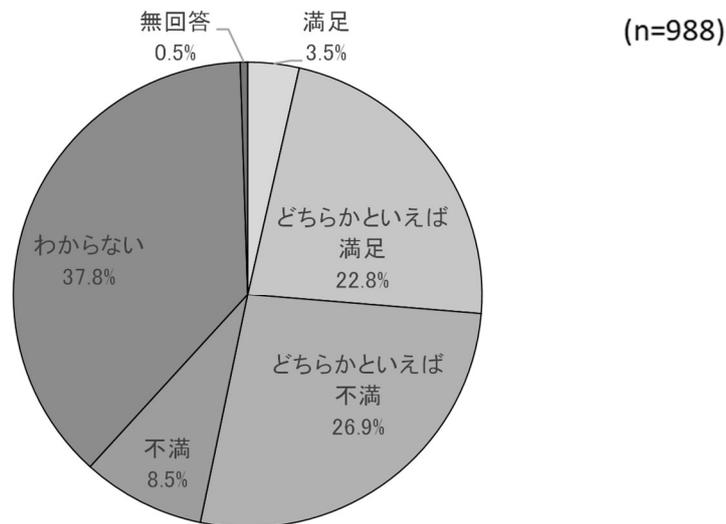


過去1年の東北公益文科大学の利用については、「利用していない（交流・連携していない）」が89.8%、「利用した（交流・連携した）」が10.1%であった。令和3年度の前回調査では「利用していない（交流・連携していない）」が90.9%、「利用した（交流・連携した）」が6.8%であったことから、「利用した（交流・連携した）」が4ポイントほど増加している。前回調査では新型コロナウイルス感染症流行による来学制限等の影響があったと考えられ、徐々に利用（交流・連携）が戻りつつあることがうかがえる。

結果を回答者の属性別にみると、年代では「利用した（交流・連携した）」割合が10代以下で35.7%と最も高く、50代の6.3%が最も低かった。居住地域別にみると、酒田地域③が「利用した（交流・連携した）」が全体より多く、次いで八幡地域、酒田地域①となっている（順に13.7%、11.6%、10.4%）。

また、酒田市に「住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」と回答している人は「利用した（交流・連携した）」割合（順に11.2%、9.7%）が、「どちらかといえば移りたい」「移りたい」と回答している人の割合（順に7.8%、8.9%）よりも高い。

問12 あなたは、子どもたちが文化芸術に触れる機会に対して満足していますか。



子どもたちが文化芸術に触れる機会に対して満足しているかについては、「わからない」が37.8%と最も多く、次いで「どちらかといえば不満」(26.9%)、「どちらかといえば満足」(22.8%)、「不満」(8.5%)、「満足」(3.5%)の順になっている。「満足」と「どちらかといえば満足」の合計値は26.5%であり、「不満」と「どちらかといえば不満」の合計値の35.4%を下回っている。これは令和3年度の前回調査とほぼ同様の結果であった。

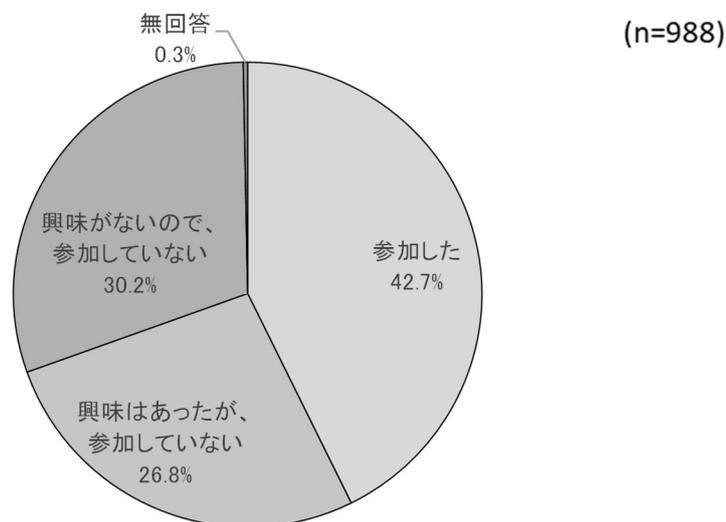
結果を回答者の属性別にみると、「満足」「どちらかといえば満足」の合計値が最も高かったのは「20代」(39.7%)、次いで「10代以下」(35.7%)、「30代」(29.9%)であった。一方で、「不満」「どちらかといえば不満」の合計値が最も高かったのは「40代」(43.7%)であり、次いで「60代」(43.4%)、「50代」(37.1%)と続いている。

居住地域別にみると、「満足」「どちらかといえば満足」の合計値が最も高かったのが「平田地域」(35.7%)、次いで「松山地域」(34.2%)であり、最も合計値が低かったのは「八幡地域」(11.6%)であった。

酒田が「嫌い」、「どちらかといえば嫌い」と回答している人は「不満」「どちらかといえば不満」の合計値の割合が顕著に高かったが(順に85%、78%)、「どちらかといえば好き」と回答している人もその割合が高かった(81.3%)。

また、酒田市が「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」、酒田市に住み続けたいと思うかという質問に対して「移りたい」「どちらかといえば移りたい」と回答した人の「不満」の割合が高い傾向にあった(順に28.2%、15.6%、20%、17.4%)。

問13 あなたは、過去1年（令和5年4月から令和6年3月まで）に、地域で行われている行事に参加しましたか。



過去1年の地域で行われている行事への参加では、「参加した」が42.7%と最も多く、次いで「興味がないので、参加していない」（30.2%）、「興味はあったが、参加していない」（26.8%）であった。令和3年度の前回調査では「参加した」が32.5%であり、12ポイント増加している。新型コロナウイルス感染症流行の影響を受け、地域で行われている行事の中止や延期、縮小による参加機会の減少がうかがえた前回調査の結果からは地域行事への市民参加が戻りつつあることがうかがえる。

一方で、「興味が無いので、参加していない」と回答した人の割合が前回調査（31.5%）とほぼ変化がみられず、参加意欲そのものの低下が懸念される。

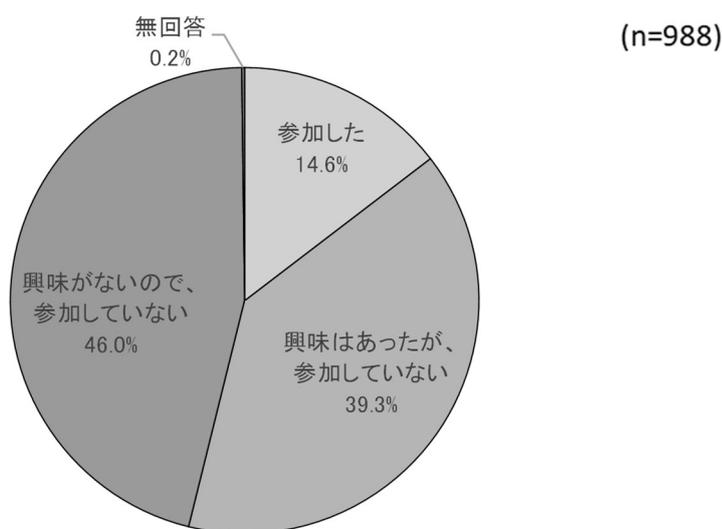
結果を回答者の属性別にみると、「10代以下」「20代」で「興味がないので、参加していない」と回答した人の割合が高い（順に、42.9%、50%）。また、「80代」で「興味はあったが、参加していない」と回答した人の割合が他の年代よりも高かった（50%）。

居住地域別にみると、「八幡地域」、「松山地域」で「参加した」と回答した人の割合が高い傾向にあった（順に67.4%、58.5%）。

酒田市が「好き」「どちらかといえば好き」、酒田市が「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」、酒田市に「住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」と回答している人において、「参加した」と回答している割合が高い（順に、51.3%、38.2%、51.1%、41.4%、51.0%、37.4%）。反対に、酒田市が「どちらかといえば嫌い」「嫌い」、酒田市は「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」、酒田市から「どちらかといえば移りたい」「移りたい」と回答している人は、「興味が無いの

で、参加していない」と回答している割合が高い（順に、42.7%、65%、37.5%、43.6%、41.7%、48.9%）。

問14 あなたは、過去1年（令和5年4月から令和6年3月まで）に、文化芸術活動（市民芸術祭、民俗芸能フェスタ、文化芸術をテーマとしたワークショップ、音楽活動など）に参加しましたか。



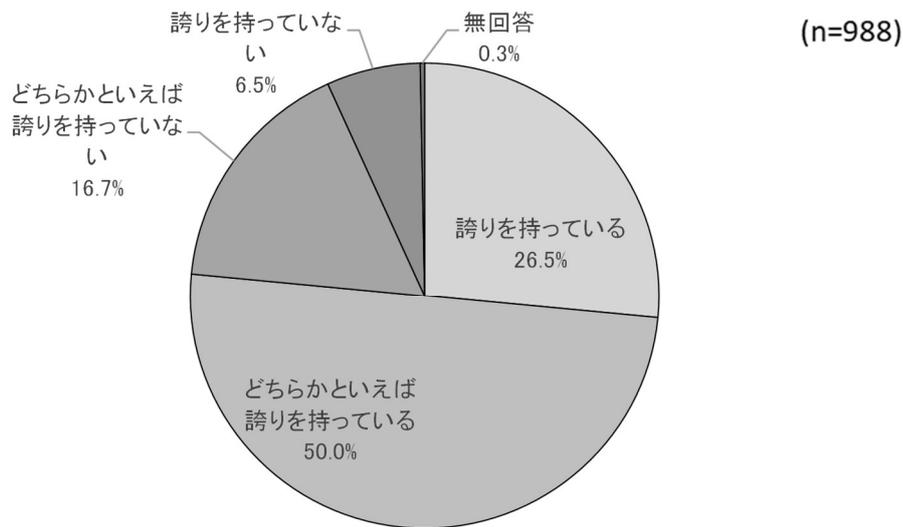
文化芸術活動への過去1年の参加状況については、「興味がないので、参加していない」が46.0%、次いで「興味はあったが、参加していない」が39.3%、「参加した」が14.6%であった。

結果を回答者の属性別にみると、「興味がないので、参加していない」という回答において年代が若いほどその割合が多く、10代以下で78.6%、次いで20代で66.2%、30代で61.9%であった。「参加した」という回答においても10代以下が0.0%であり、反対に最も高かったのは70代の20.9%であった。

居住地域別にみると、「参加した」が最も多かったのは平田地域において28.6%、次いで松山地域が19.5%、八幡地域が16.3%であった。

酒田が「好き」、酒田市が「住みやすい」、酒田市に「住み続けたい」と回答した人において、「参加した」割合が他の選択肢を選んだ者と比較して多く（順に18.5%、16.6%、18.7%）、「興味はあったが、参加していない」についても同様に多い結果となった（順に43.2%、45.3%、42.5%）。

問15 あなたは、酒田市の文化資源について誇りを持っていますか。  
 (例：日和山公園、旧燈屋、本間家旧本邸、山居倉庫、土門拳記念館、酒田市美術館、出羽遊心館、希望ホール、松山文化伝承館、松山城址館などの文化施設。黒森歌舞伎や獅子舞などの伝統行事、芸術活動など)



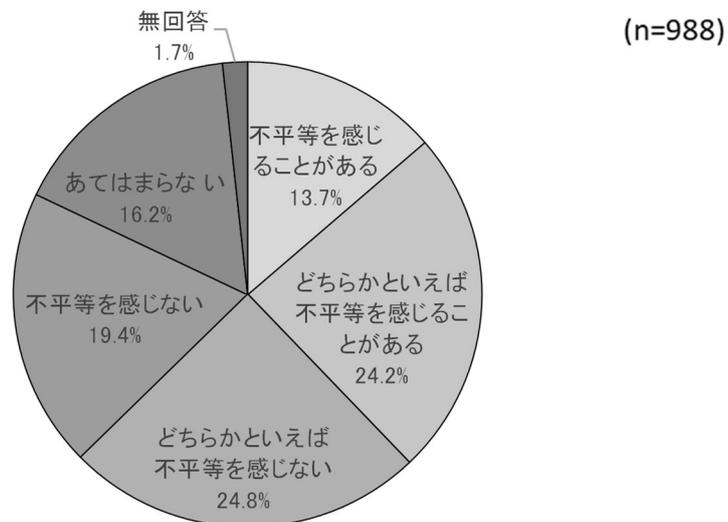
酒田市の文化資源については、「どちらかといえぱ誇りを持っている」(50.0%)が最も多く半数を占めており、次いで「誇りを持っている」(26.5%)、「どちらかといえぱ誇りを持っていない」(16.7%)、「誇りを持っていない」(6.5%)であった。

結果を回答者の属性別にみると、年齢が高いほど「誇りを持っている」割合が多い傾向にあり、最も多かったのは70代で36.5%、次いで80代で31.8%、60代で28.8%であった。一方で、30代において「誇りを持っている」と回答した割合が最も低く(13.2%)、次いで20代が20.6%、10代以下が21.4%であった。

居住地域別にみると、松山地域、八幡地域、酒田地域①において「誇りを持っている」と回答した割合が全体よりも上回っており(順に、31.7%、30.2%、28.2%)、酒田地域②、酒田地域③、平田地域において全体よりも下回っている(順に、21.5%、24.2%、21.4%)。

また、酒田市が「好き」、酒田市が「住みやすい」、酒田市に「住み続けたい」と回答した人において、「誇りを持っている」と回答した割合が顕著に高い傾向にあった(順に、44.7%、45.3%、40.2%)。

問16 あなたは、学校または職場で男女の不平等を感じることはありますか。



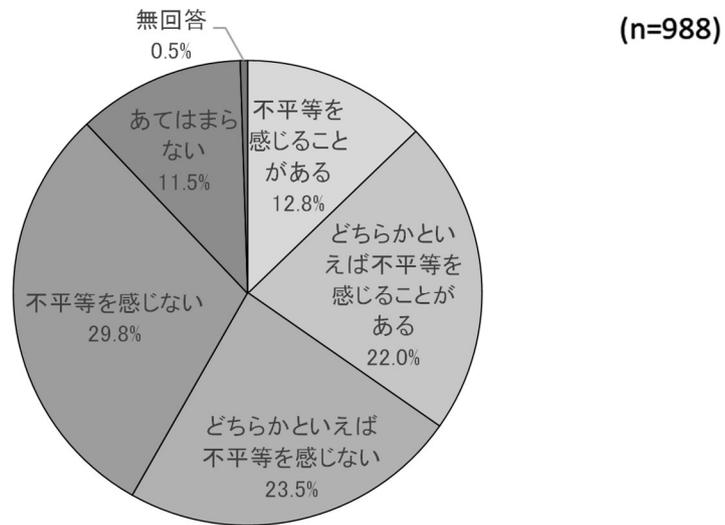
学校または職場で男女の不平等を感じることはあるかについては、「どちらかといえ  
ば不平等を感じない」(24.8%)と「どちらかといえ不平等を感じる」  
(24.2%)が拮抗しており、次いで「不平等を感じない」(19.4%)、「不平等を感じ  
ることがある」(13.7%)、「あてはまらない」と回答した人も16.2%いた。

結果を回答者の属性別にみると、男性では「どちらかといえ不平等を感じない」  
割合が27.4%と全体よりもやや多く、女性では「どちらかといえ不平等を感じる  
ことがある」割合が25.4%と全体よりもやや多い結果となった。

年代では、30代、40代、50代で「不平等を感じる」割合が全体より  
も多い傾向にあり(順に20.1%、15.6%、16.1%)、「どちらかといえ不平等を感  
じることがある」との合計値においても30代が最も多かった(47.9%)。

酒田市が「嫌い」「住みにくい」と回答している人において「不平等を感じる」が  
割合が高く(順に40.0%、30.8%)、「好き」「住みやすい」と回答している人  
は「不平等を感じない」割合が高い(順に24.6%、25.9%)。

問17 あなたは、家庭で男女の不平等を感じるがありますか。



家庭で男女の不平等を感じるがあるかについては、「不平等を感じない」が29.8%と最も多く、次いで「どちらかといえば不平等を感じない」(23.5%)、「どちらかといえば不平等を感じるがある」(22.0%)、「不平等を感じるがある」(12.8%)、「あてはまらない」(11.5%)であった。

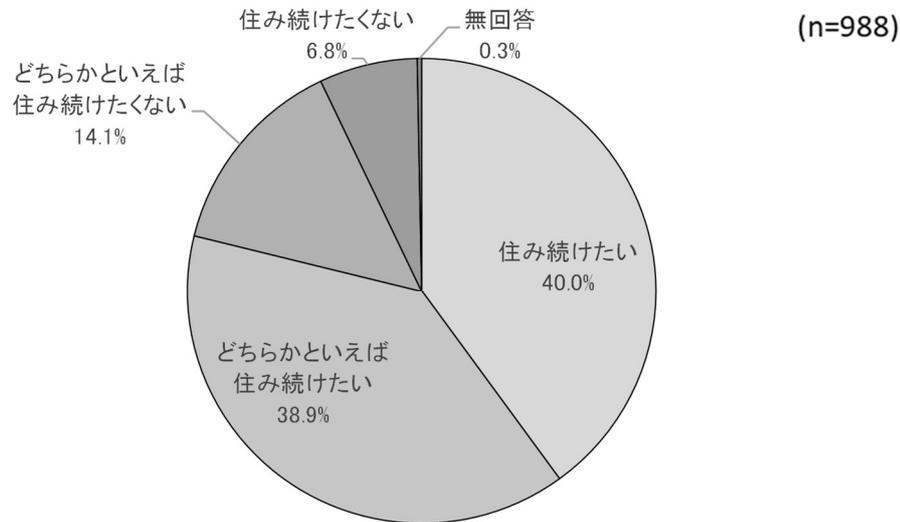
結果を回答者の属性別にみると、男性よりも女性で「不平等を感じるがある」と回答する割合が高く(順に7.3%、18.3%)、「どちらかといえば不平等を感じるがある」との合計値においても男性24.6%、女性44.8%と大きな差が出ている。

年代では、20代および10代以下で「不平等を感じるがある」割合が低く(順に、2.9%、7.1%)、30代で18.1%と全体よりも高くなっている。

居住地域別にみると、松山地域で「不平等を感じるがある」と回答した割合が最も低く(7.3%)、酒田地域①と平田地域でやや高かった(順に、14.5%、14.3%)。

また、酒田市が「嫌い」、酒田市が「住みにくい」、酒田市から「移りたい」と感じている人ほど「不平等を感じるがある」割合が著しく高い傾向にあった(順に、40.0%、28.2%、24.4%)。

問18 あなたは、現在住んでいる地域（学区）に今後も住み続けたいですか。

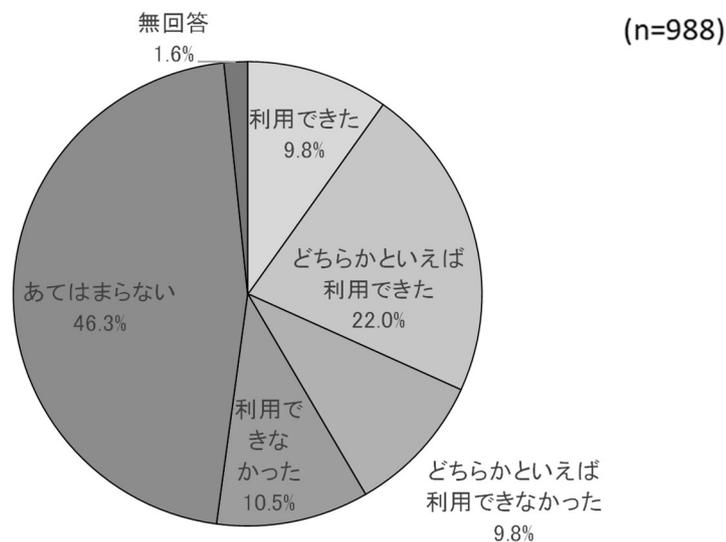


現在住んでいる地域（学区）に今後も住み続けたいかについては、「住み続けたい」（40.0%）が最も多く、次いで「どちらかといえば住み続けたい」（38.9%）、「どちらかといえば住み続けたくない」（14.1%）、「住み続けたくない」（6.8%）であった。令和3年度の前回調査では、「住み続けたい」が47.9%、「どちらかといえば住み続けたい」が32%、「どちらかといえば移りたい」が11.1%、「移りたい」が3.2%であり、「住み続けたい」が7ポイント、「どちらかといえば住み続けたい」で6ポイントほどそれぞれ減少している。

結果を回答者の属性別にみると、「70代」「80代」で「住み続けたい」と回答する割合が他の年代と比較して高く、それぞれ57.8%、68.2%となっている。居住地域別にみると、「住み続けたい」が最も割合が高いのが「八幡地域」で46.5%、次いで「酒田地域①」42.3%、最も割合が低いのが「松山地域」で29.3%、次いで「酒田地域③」32.9%であった。

酒田市が「好き」、酒田市が「住みやすい」と回答している人において「住み続けたい」が顕著に高い傾向にあった（順に62.9%、71.6%）。

問19 あなたは、希望どおりに子育て支援事業（保育料の負担軽減、学童保育所の運営など）を利用できたと思いますか。



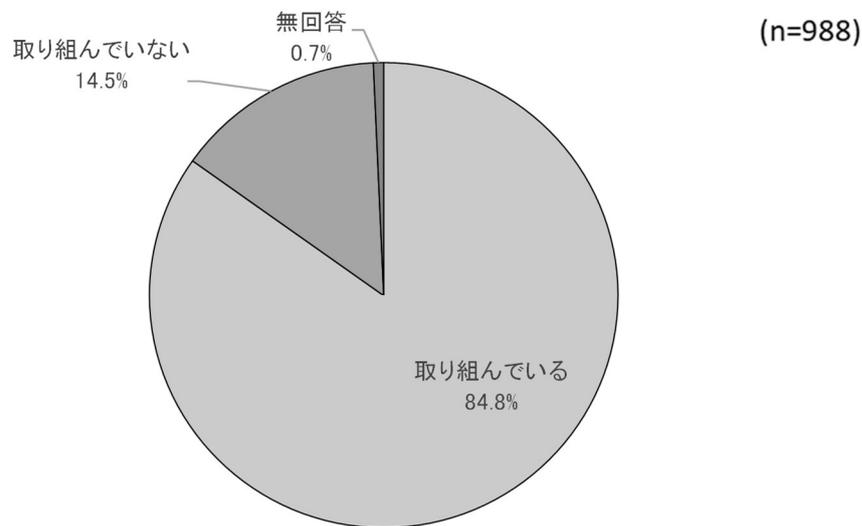
希望どおりに子育て支援事業を利用できたかについては、「あてはまらない」（46.3%）が最も多く、次いで「どちらかといえば利用できた」（22.0%）、「利用できなかった」（10.5%）、「利用できた」（9.8%）、「どちらかといえば利用できなかった」（9.8%）であった。

結果を回答者の属性別にみると、年代では、30代、40代で「利用できた」と回答する割合が高く（順に18.8%、16.3%）、「どちらかといえば利用できた」との合計値でも40代が51.9%と他の世代と比較して最も高かった。

居住地域別にみると、「松山地域」（4.9%）、「酒田地域③」（6.9%）で「利用できた」と回答する割合が他の地域（酒田地域①10.4%、酒田地域②10.74%、八幡地域9.3%、平田地域11.9%）と比較してやや低い。

また、酒田市が住みやすいと感じている人ほど子育て支援事業を希望通りに利用できたと回答している割合が高くなっている。具体的には、「利用できた」と回答している割合は、「住みやすい」で13.3%、「どちらかといえば住みやすい」で9.02%、「どちらかといえば住みにくい」で8.1%、「住みにくい」で2.6%であった。

問20 あなたは、家にいるとき、省エネや節電に取り組んでいますか。

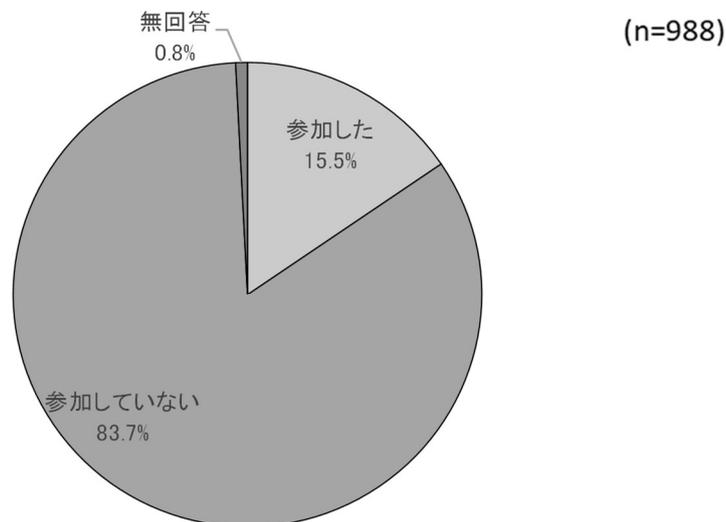


家での省エネや節電に「取り組んでいる」(84.8%)が、「取り組んでいない」(14.5%)を大幅に上回っている。令和3年度の前回調査では「取り組んでいる」が83.7%、「取り組んでいない」が11.9%であり概ね同様の傾向ではあるが、「取り組んでいない」が3ポイント増加している(選択肢から「わからない」が除外されたことによるものと考えられる)。

結果を回答者の属性別にみると、「20代」(70.6%)、「30代」(72.9%)で「取り組んでいる」割合がやや低く、それ以外の年代では「取り組んでいる」が8割から9割に上っている。特に、「10代以下」(92.9%)と「70代」(90.0%)で取り組んでいる割合が高い。居住地域別にみると「八幡地域」が90.7%と他の地域よりも取り組んでいる割合が高い。

また、酒田が「嫌い」、酒田市が「住みにくい」、酒田市から「移りたい」と回答している人において「取り組んでいる」の割合がいずれも低い傾向にあった(順に55.0%、66.7%、68.9%)。

問21 あなたは、過去1年（令和5年4月から令和6年3月まで）に、自然に親しむ活動やイベントに参加しましたか。（例：河川、海岸、里山や林の清掃活動や野山の散策、バードウォッチングなど）



自然に親しむ活動やイベントへの参加では、「参加していない」（83.7%）が「参加した」（15.5%）を大幅に上回っている。令和3年度の前回調査では、「参加していない」が79.5%、「参加した」が17.4%であり、「参加した」が2ポイント増加した。

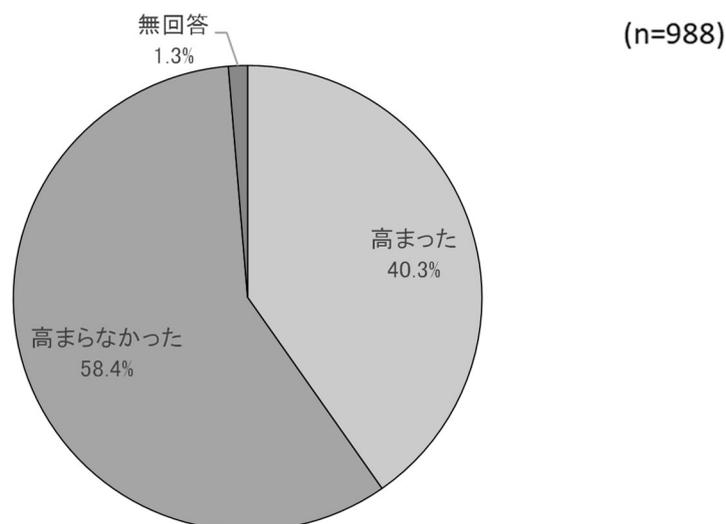
結果を回答者の属性別にみると、年代では「20代」が「参加した」が4.4%と他の年代（10代以下14.3%、30代16.0%、40代12.3%、50代12.3%、60代17.4%、70代19.6%、80代13.6%）と比較して低かった。

居住地域別にみると、「八幡地域」において「参加した」が44.2%と、他地域（酒田地域①14.1%、酒田地域②12.4%、酒田地域③14.9%、松山地域19.5%、平田地域11.9%）と比較して参加割合が突出して高かった。

また、酒田市が「好き」、酒田市が「住みやすい」、酒田市に「住み続けたい」と回答している人において「参加した」割合がやや高くなっている（順に19.0%、20.5%、18.4%）

#### 4. 【酒田市の情報の受発信について】

問22 あなたは、本市の広報活動（市広報の紙面、市公式SNS、FMラジオ、出前講座、個別事業説明会、自治会回覧板など）に触れることで、市政やまちづくり、地域活動への関心が高まりましたか。

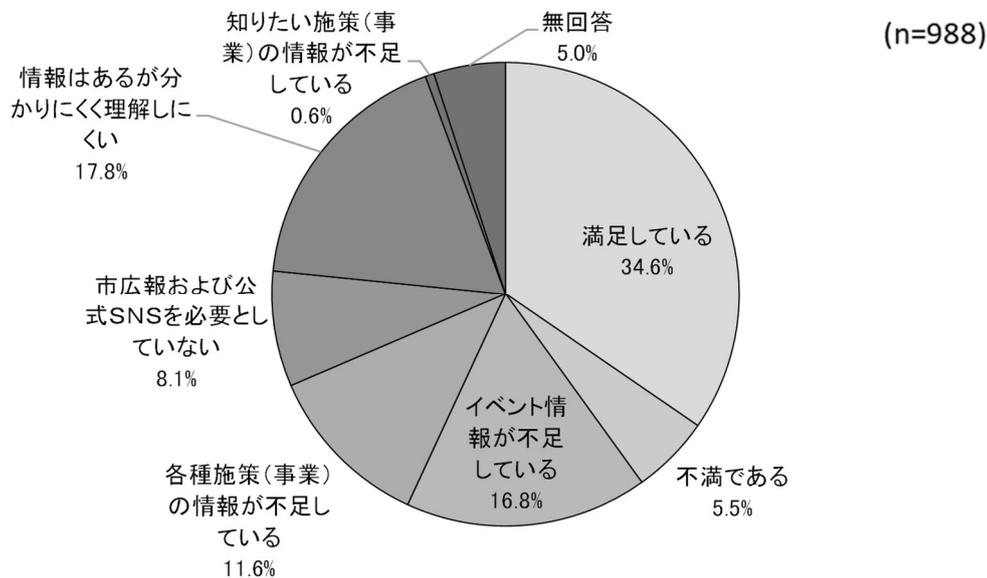


回答者全体のうち、市政やまちづくり、地域活動への関心が「高まった」と回答したのが 40.3%、「高まらなかった」と回答したのが 58.4%であった。無回答は 1.3%であった。令和3年度の前回調査では「高まった」との回答が 38.7%であり、1.6ポイント上昇した。

年齢階級で見ると、全体的な傾向として年代が上がるごとに「高まった」と回答する割合が多くなっていく。例えば 10代以下は「高まった」との回答の割合が最小（21.4%）であり、80代（45.5%）で最大の値となっている。ただし、この中で 40代では市政やまちづくり、地域活動への関心が「高まった」と回答した割合（34.1%）が、30代（43.1%）および50代（44.8%）と比べて低い。

なお、問1で酒田市を「好き」と答えた回答者の 45.9%が問22では地域活動への関心が「高まらなかった」と回答していることから、酒田市に好意的な評価を行っている層であっても、市政や街づくり、地域活動への関心を高める余地は依然として存在するといえる。

問23 あなたは、市広報（私の街さかた）および市公式SNSによる市政情報の発信について、満足していますか。



「知りたい施策（事業）の情報が不足している。」の具体的な意見

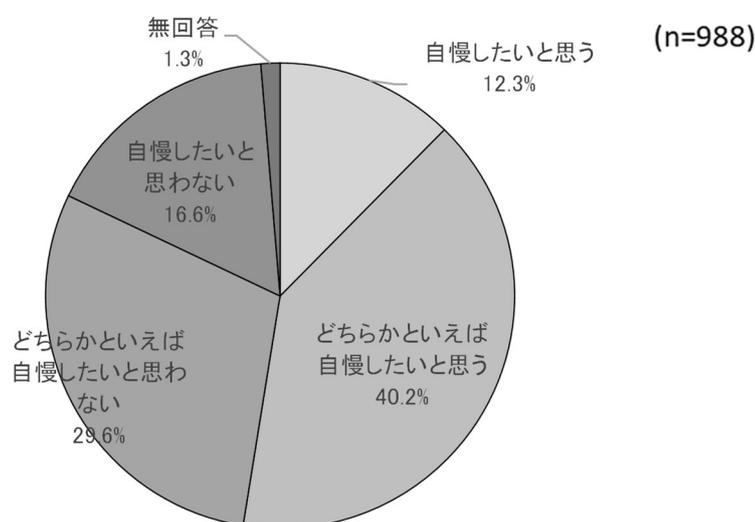
- ・ SNS やっているの初めて知った
- ・ イベント情報は知れるが、市が今どのようなまちづくり（ハード面、ソフト面）をしているのか無回答
- ・ リチウム電池の回収を市で取り組んでほしい
- ・ 情報が、入って来ない。自分から、探さないと情報がわからないのでは？
- ・ 存在をそもそも知らない（SNS）
- ・ 洋上風力発電、メリットだけでなくデメリット（環境景観、漁業への影響等）をフェアに発信していただきたい

回答者全体のうち、34.6%が「満足している」と回答し、5%が「不満である」と回答した。また全体のうち何らかの「情報が不足している」と回答した者はあわせて全体の37.1%、「情報はあがるが、わかりにくく理解しにくい」と回答した者は全体の17.8%であった。情報の不足に関する選択肢の中では、「情報はあがるがわかりにくく理解しにくい」が最も高く17.8%、次いで「イベント情報が不足している」が16.8%、「各種施策（事業）の情報が不足している」が11.6%、特定の施策に関して書きこむ形式で回答するものが0.6%であった。令和3年度実施の前回調査とは回答の文言がやや異なるものの、前回調査において「十分な市政情報が発信されており満足している」との回答は32.6%であったため、2ポイント増加した。

結果を回答者の属性別に見ると、問1で酒田市が「好き」あるいは「どちらかといえば好き」を回答した者は「満足している」との回答が最も多く(順に47.2%、29.1%)、「嫌い」「どちらかといえば嫌い」と回答した者は「情報はあるが分かりにくく理解しにくい」の回答が最も多かった(順に22.7%、22.5%)。

また年齢階級で見ると、80代において「情報はあるが分かりにくく理解しにくい」の回答(36.4%)が「満足している」(31.8%)を上回っている。その他の年齢階級では、10代において「市広報および公式SNSを必要としていない」(28.6%)が最多、それ以外の年齢階級ではいずれも「満足している」が最も多い。

**問24 あなたは、ほかの誰かに酒田市のことを自慢したいと思いますか。**



本調査から新たに加えられた設問である。「自慢したいと思う」(12.3%)、「どちらかといえば自慢したいと思う」(40.2%)の合計値『自慢したい』は52.5%であり、「自慢したいと思わない」(16.6%)、「どちらかといえば自慢したいと思わない」(29.6%)の合計値『自慢したくない』46.2%を上回った。

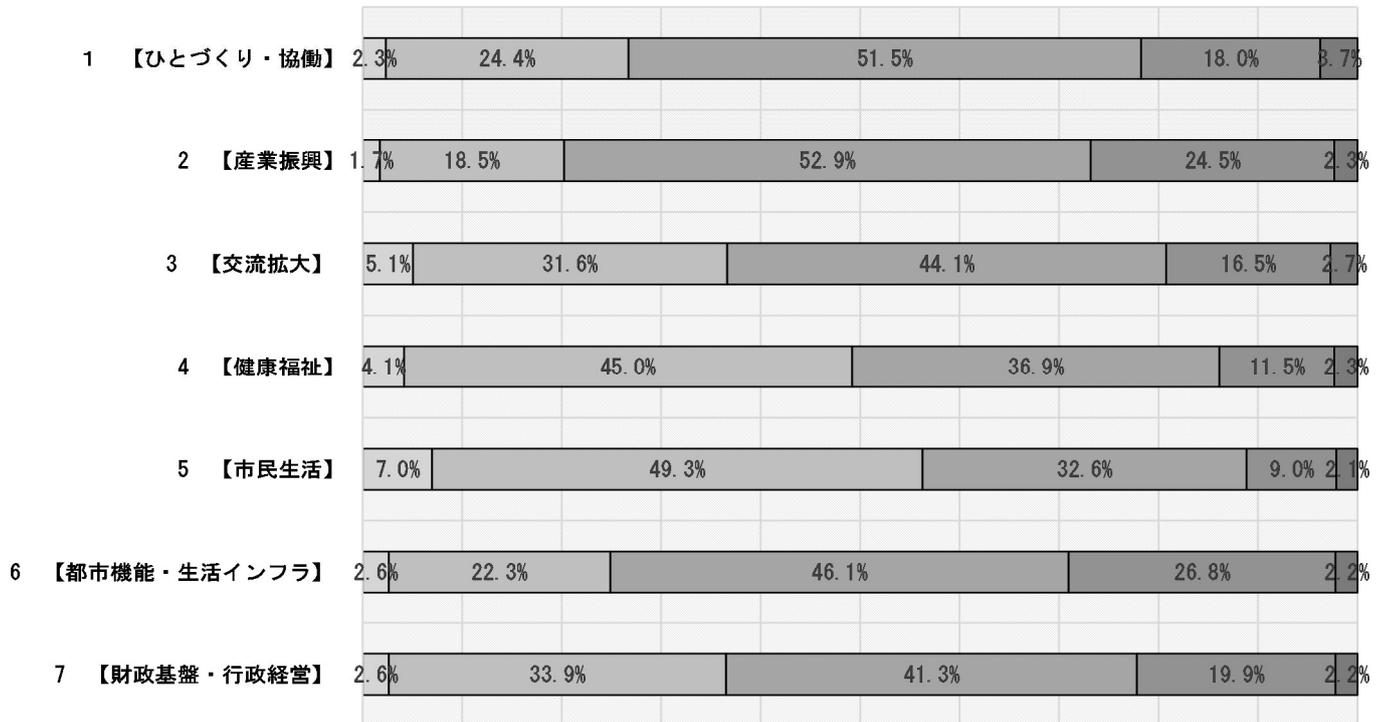
年齢階級別に見ると、合計値『自慢したい』の値が一番高いのは10代以下である(71.4%)。20代では『自慢したい』の値(42.7%)よりも『自慢したくない』(55.9%)の値が多くなり、30代でもこの傾向が続く(『自慢したい』44.4%、『自慢したくない』55.6%)。40代では同値(いずれも49.63%)、50代ではやや逆転するがほぼ同値(『自慢したい』49.0%、『自慢したくない』50.4%)、60代以降では『自慢したい』の値が再び多くなる(60代『自慢したい』/『自慢したくない』が57.1%、41.1%、70代が59.1%、39.13%、80代が63.6%、31.8%)。

居住地域別に見ると、八幡地域において『自慢したくない』の値(60.5%)が他の地域に比べて特に高くなっている。

## 5. 【酒田市の「めざすまとの姿」について】

問25 あなたは、以下の酒田市の「めざすまとの姿」の現状について、どの程度満足していますか。もしくは不満がありますか。

□満足している □どちらかといえば満足 ■どちらかといえば不満 □不満がある ■無回答 (n=988)



- 1 【ひとづくり・協働】 未来を担う人材が豊富な酒田の現状について
- 2 【産業振興】 「地域経済が活性化し「働きたい」がかなう酒田」の現状について
- 3 【交流拡大】 「移住者・定住者・観光客が増加する酒田」の現状について
- 4 【健康福祉】 「暮らしと生きがいを共に創り、お互いが支え合う酒田」の現状について
- 5 【市民生活】 「地域のつながりと安心・安全にあふれた暮らしやすい酒田」の現状について
- 6 【都市機能・生活インフラ】 「都市機能が強化され、賑わう酒田」の現状について
- 7 【財政基盤・行政経営】 「健全な行政経営を推進する酒田」の現状について

(1)【ひとづくり・協働】

「未来を担う人材が豊富な酒田」の現状について

「どちらかといえば不満」が最多51.5%であり、「不満がある」18.0%と合わせた合計値『不満』の値は69.0%と、ほぼ7割を示した。

(2)【産業振興】

「地域経済が活性化し「働きたい」がかなう酒田」の現状について

「どちらかといえば不満」が最多52.9%であり、「不満がある」24.5%と合わせた合計値『不満』の値は77.4%と、7割を超えた。

(3)【交流拡大】

「移住者・定住者・観光客が増加する酒田」の現状について

「どちらかといえば不満」が最多44.1%であり、次いで「どちらかといえば満足」が31.6%の値であった。「どちらかといえば不満」と「不満がある」(16.5%)と合わせた合計値『不満』の値は60.6%と、6割を超えた。

(4)【健康福祉】

「暮らしと生きがいを共に創り、お互いが支え合う酒田」の現状について

「どちらかといえば満足」が45.0%と最多であり、次いで「どちらかといえば不満」が36.9%の値であった。「満足している」(4.1%)と「どちらかといえば満足」の値を合わせた合計値『満足』の値は49.1%、「不満がある」(11.5%)「どちらかといえば不満」の値を合わせた合計値『不満』は48.4%であった。合計値『満足』が『不満』をわずかに上回った。

(5)【市民生活】

「地域のつながりと安心・安全にあふれた暮らしやすい酒田」の現状について

「どちらかといえば満足」が49.3%と最多であり、次いで「どちらかといえば不満」が32.6%の値であった。「満足している」(7.0%)と「どちらかといえば満足」の値を合わせた合計値『満足』の値は56.3%、「不満がある」(9.0%)「どちらかといえば不満」の値を合わせた合計値『不満』は41.6%であった。合計値『満足』が『不満』を上回った。

(6)【都市機能・生活インフラ】

「都市機能が強化され、賑わう酒田」の現状について

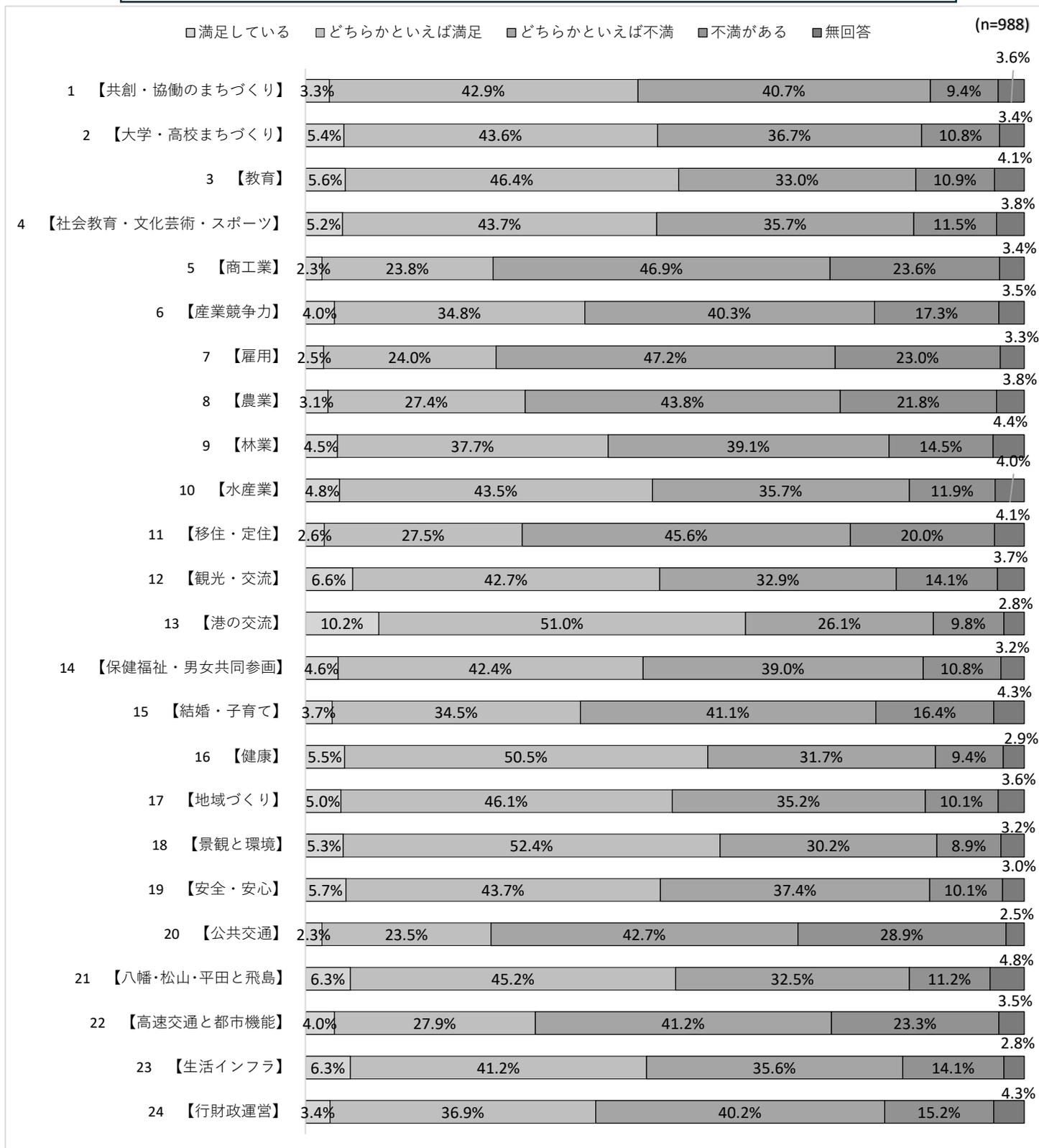
「どちらかといえば不満」が最多46.1%であり、「不満がある」26.8%と合わせた合計値『不満』の値は72.9%と、7割を超えた。

(7)【財政基盤・行政経営】

「健全な行政経営を推進する酒田」の現状について

「満足している」が最多 41.3%であり、「どちらかといえば満足」33.9%と合わせた合計値『満足』の値は 75.2%と、7割を超えた。

問26 あなたは、以下の酒田市の政策の現状について、どの程度満足していますか。もしくは不満がありますか。



- 1 **【共創・協働のまちづくり】**  
「市民参加があふれ、協働が広がる公益のまち」の現状について
- 2 **【大学・高校まちづくり】**  
「大学・高校とともにつくる「ひと」と「まち」の現状について
- 3 **【教育】** 「公益の心を持ち明日をひらく子どもたちを育むまち」の現状について
- 4 **【社会教育・文化芸術・スポーツ】**  
「学びあい、地域とつながる人を育むまち」の現状について
- 5 **【商工業】** 「地域経済を牽引する商工業が元気なまち」の現状について
- 6 **【産業競争力】** 「経済と環境の両立により産業競争力が高いまち」の現状について
- 7 **【雇用】** 「地元でいきいきと働くことができるまち」の現状について
- 8 **【農業】** 「夢があり、儲かる農業で豊かなまち」の現状について
- 9 **【林業】** 「100年続く森林（もり）を造り、活かすまち」の現状について
- 10 **【水産業】** 「恵み豊かな水産を活かすまち」の現状について
- 11 **【移住・定住】** 「未来を支える担い手が増えるまち」の現状について
- 12 **【観光・交流】** 「「おもてなし」があふれ、交流でうるおうまち」の現状について
- 13 **【港の交流】** 「「港」発の交流で賑わうまち」の現状について
- 14 **【保健福祉・男女共同参画】** 「誰もがいきいきと暮らしやすいまち」の現状について
- 15 **【結婚・子育て】** 「未来を担う子どもの笑顔があふれるまち」の現状について
- 16 **【健康】** 「健康でいつまでも活躍できるまち」の現状について
- 17 **【地域づくり】** 「住民と行政の協働による地域運営ができるまち」の現状について
- 18 **【景観と環境】** 「「全員参加」でつくる美しいまち」の現状について
- 19 **【安全・安心】** 「地域との連携でつくる安全・安心なまち」の現状について
- 20 **【公共交通】** 「「暮らしの足」が維持されるまち」の現状について
- 21 **【八幡・松山・平田と飛島】** 「自然環境、歴史、文化、産業で多様性を広げるまち」の現状について
- 22 **【高速交通と都市機能】** 「高速交通ネットワークを実現し、ひと・もの・情報が集い、魅力と賑わいを創出するまち」の現状について
- 23 **【生活インフラ】** 「将来にわたり快適に利用できる生活インフラが整備されているまち」の現状について
- 24 **【行財政運営】**  
「質の高い行政サービスが持続的に提供されるまち」の現状について

### (1)【共創・協働のまちづくり】

「市民参加があふれ、協働が広がる公益のまち」の現状について

共創・協働のまちづくりについては、「満足している」が 3.3%、「どちらかといえば満足」が 42.91%となり、合計値の『満足』は 46.3%であった。24 項目の政策について、『満足』の全体での平均を求めると 43.6%であり、2.5 ポイント程度上回った。ただし、『満足』の値は、全体で 14 番目の順位であった。

結果を回答者の属性別に見ると、男女別では、『満足』の回答が男性では少なく(43.11%)、女性の方が多かった(48.6%)。酒田市が好き、住みやすい、住み続けたいと考えている人は『満足』の回答が多く(順に 55.8%、60.8%、56.9%)、嫌い、住みにくい、移りたいと回答している人は「どちらかといえば不満」「不満がある」の合計値である『不満』の回答が多い(順に 85.0%、84.6%、77.8%)。

### (2)【大学・高校まちづくり】

「大学・高校とともに作る「ひと」と「まち」の現状について

大学・高校まちづくりについては、「満足している」が 5.4%、「どちらかといえば満足」が 43.6%となり、合計値の『満足』は 49.0%であり、24 項目の政策に対する満足度の平均値を上回り、9 番目の順位であった。

結果を回答者の属性別に見ると、『満足』の回答が男女別では男性では少なく(44.0%)、女性の方が多かった(53.6%)。年代別では 20 代が多く(57.4%)、40 代と 50 代は少なかった(順に 43.0%、42.0%)。居住地域別では酒田地域②と平田地域の回答が多かった(順に 57.0%、61.9%)。

酒田市が好き、住みやすい、住み続けたいと考えている人は『満足』の回答が多く(順に 57.4%、60.8%、60.5%)、嫌い、住みにくい、移りたいと回答している人は「どちらかといえば不満」「不満がある」の合計値である『不満』の回答が多い(順に 85.0%、82.1%、73.3%)。

### (3)【教育】

「公益の心を持ち明日をひらく子どもたちを育むまち」の現状について

教育については、「満足している」が 5.6%、「どちらかといえば満足」が 46.4%となり、合計値の『満足』は 51.9%であり、24 項目の政策に対する満足度の平均値を上回り、4 番目の順位であった。

結果を回答者の属性別に見ると、『満足』の回答が年代別では 20 代が多く(70.6%)、40 代と 50 代は少なかった(順に 46.7%、39.9%)。居住地域別では酒田地域③の回答が少なかった(47.2%)。

酒田市が好き、住みやすい、住み続けたいと考えている人は『満足』の回答が多く(順に 60.2%、60.8%、60.5%)、嫌い、住みにくい、移りたいと回答している人

は「どちらかといえば不満」「不満がある」の合計値である『不満』の回答が多い（順に65.0%、69.2%、57.8%）。

#### （4）【社会教育・文化芸術・スポーツ】

「学びあい、地域とつながる人を育むまち」の現状について

社会教育・文化芸術・スポーツ、「満足している」が5.2%、「どちらかといえば満足」が43.7%となり、合計値の『満足』は48.9%であり、24項目の政策に対する満足度の平均値を上回り、10番目の順位であった。

結果を回答者の属性別に見ると、『満足』の回答が男女別では男性では少なく（44.0%）、女性の方が多かった（53.6%）。年代別では20代が多く（64.7%）、40代と50代は少なかった（順に43.7%、38.5%）。居住地域別では松山地域の回答が少なく（41.5%）、平田地域の回答が多かった（57.1%）。

酒田市が好き、住みやすい、住み続けたいと考えている人は『満足』の回答が多く（順に59.6%、59.7%、59.1%）、嫌い、住みにくい、移りたいと回答している人は「どちらかといえば不満」「不満がある」の合計値である『不満』の回答が多い（順に85.0%、82.1%、71.1%）。

#### （5）【商工業】

「地域経済を牽引する商工業が元気なまち」の現状について

商工業については、「満足している」が2.3%、「どちらかといえば満足」が23.8%となり、合計した『満足』は26.1%と約3割となった。「不満がある」は23.6%、「どちらかといえば不満」は46.9%であり、合計した『不満』は70.5%である。『不満』が『満足』を大きく上回った。

結果を回答者の属性別に見ると、酒田市が好き、住みやすい、住み続けたいと考えている人が「満足している」と回答した割合（それぞれ4.1%、6.1%、3.6%）が、嫌い、住みにくい、移りたいと考えている人が「満足している」と回答した割合（それぞれ0%、0%、2.2%）をそれぞれ上回っている。

地域による差が現れており、松山地域では『満足』（17.0%）、『不満』（78.1%）と、他地域と比べて『満足』の割合が低く、『不満』の割合が高かった。

#### （6）【産業競争力】

「経済と環境の両立により産業競争力が高いまち」の現状について

産業競争力については、「満足している」が4.0%、「どちらかといえば満足」が34.8%となり、合計した『満足』は38.8%と約4割となった。「不満がある」は17.3%、「どちらかといえば不満」は40.3%であり、合計した『不満』は57.6%である。『不満』が『満足』を上回った。

結果を回答者の属性別に見ると、酒田市が好き、住みやすい、住み続けたいと考えている人が「満足している」と回答した割合（それぞれ 5.8%、6.8%、5.2%）が、嫌い、住みにくい、移りたいと考えている人が「満足している」と回答した割合（それぞれ 0%、2.6%、4.4%）をそれぞれ上回っている。

地域による差が現れており、平田地域では『満足』（47.6%）、『不満』（45.2%）と、全地域の中で唯一『満足』が『不満』を上回った。

#### (7)【雇用】

「地元でいきいきと働くことができるまち」の現状について

雇用については、「満足している」が 2.5%、「どちらかといえば満足」が 24.0%となり、合計した『満足』は 26.5%と約 3 割となった。「不満がある」は 23.0%、「どちらかといえば不満」は 47.2%であり、合計した『不満』は 70.2%である。『不満』が『満足』を大きく上回った。

結果を回答者の属性別に見ると、酒田市が好き、住みやすい、住み続けたいと考えている人が「満足している」と回答した割合（それぞれ 45.7%、5.0%、3.6%）が、嫌い、住みにくい、移りたいと考えている人が「満足している」と回答した割合（それぞれ 20.0%、0%、2.2%）をそれぞれ上回っている。

#### (8)【農業】

「夢があり、儲かる農業で豊かなまち」の現状について

農業については、「満足している」が 3.1%、「どちらかといえば満足」が 27.4%となり、合計した『満足』は 30.5%と約 3 割となった。「不満がある」は 21.8%、「どちらかといえば不満」は 43.8%であり、合計した『不満』は 65.6%である。『不満』が『満足』を大きく上回った。

結果を回答者の属性別に見ると、酒田市が好き、住みやすい、住み続けたいと考えている人が「満足している」と回答した割合はそれぞれ 4.3%、5.8%、3.8%）であり、嫌い、住みにくい、移りたいと考えている人が「満足している」と回答した割合はそれぞれ 5.0%、2.6%、0%であった。

#### (9)【林業】

100 年続く森林については、「満足している」が 3.1%、「どちらかといえば満足」が 27.4%となり、合計した『満足』は 30.5%であった。24 項目の政策について、『満足している』の全体での平均を求めると 43.6%であり、13.1 ポイント下回った。ただし、『満足している』の値は、全体で 15 番目の順位であった。

結果を回答者の属性別に見ると、男女別では、『満足』の回答が男性では少なく（36.0%）、女性の方が多かった（47.6%）。年代別では 20 代が多い（72.1%）。住

みやすいと考えている人は『満足』の回答が多く（47.8%）、嫌い、住みにくい、移りたいと回答している人は『不満』の回答が多い（順に 60.0%、66.7%、62.2%）。

#### （10）【水産業】

恵み豊かな水産業については、「満足している」が 4.8%、「どちらかといえば満足」が 43.5%となり、合計値の『満足』は 48.3%であり、24 項目の政策に対する満足度の平均値を上回り、11 番目の順位であった。

結果を回答者の属性別に見ると、『満足』の回答が男女別では男性では少なく（43.8%）、女性の方が多かった（52.4%）。年代別では 10 代が多い（85.7%）。

酒田市が好き、住みやすい、住み続けたいと考えている人は『満足』の回答が多く（順に 51.5%、56.5%、51.2%）、嫌い、住みにくい、移りたいと回答している人は『不満』の回答が多い（順に 60.0%、69.2%、53.3%）。

#### （11）【移住・定住】

移住・定住については、「満足している」が 2.6%、「どちらかといえば満足」が 27.5%となり、合計値の『満足』は 30.2%であり、24 項目の政策に対する満足度の平均値を下回り、21 番目の順位であった。

結果を回答者の属性別に見ると、『満足』の回答が年代別では 10 代と 20 代が多い（順に 42.9%、44.1%）。居住地域別では松山地域の回答が少なかった（14.6%）。

酒田市が好き、住みやすい、住み続けたいと考えている人であっても『不満』の回答が多く（順に 55.1%、52.5%、55.7%）、嫌い、住みにくい、移りたいと回答している人は『不満』の回答が多い（順に 90.0%、92.3%、84.4%）。

#### （12）【観光・交流】

観光・交流については、「満足している」が 6.6%、「どちらかといえば満足」が 42.7%となり、合計値の『満足』は 49.3%であり、24 項目の政策に対する満足度の平均値を上回り、8 番目の順位であった。

結果を回答者の属性別に見ると、『満足』の回答が男女別では男性では少なく（44.0%）、女性の方が多かった（53.6%）。年代別では 10 代と 20 代が多い（順に 85.7%、69.1%）。居住地域別では八幡地域の回答が少なかった（32.6%）。

酒田市が好き、住みやすい、住み続けたいと考えている人は『満足』の回答が多く（順に 58.9%、60.1%、58.9%）、嫌い、住みにくい、移りたいと回答している人は『不満』の回答が多い（順に 80.0%、79.5%、66.7%）。

### (13)【港の交流】

「港」発の交流で賑わうまち」の現状について

港の交流については、「満足している」が 10.2%、「どちらかと言えば満足」が 51.0%となり、合計した『満足』は 61.2%と約 6 割を超えた。「不満がある」は 9.8%、「どちらかと言えば不満」は 26.1%であり、合計した『不満』は 35.9%である。『満足』が『不満』を大きく上回っている。

結果を回答者の属性別に見ると、酒田市が好き、住みやすい、住み続けたいと考えている人が「満足している」と回答した割合はそれぞれ 14.5%、18.0%、13.3%であり、嫌い、住みにくい、移りたいと考えている人が「満足している」と回答した割合はそれぞれ 5.0%、5.1%、13.3%であった。

### (14)【保健福祉・男女共同参画】

「誰もがいきいきと暮らしやすいまち」の現状について

保健福祉・男女共同参画については、「満足している」が 4.6%、「どちらかと言えば満足」が 42.4%となり、合計した『満足』は 47.0%と約5割を下回った。「不満がある」は 10.8%、「どちらかと言えば不満」は 39.0%であり、合計した『不満』は 49.8%である。『不満』が『満足』を 2.8 ポイント上回っている。

結果を回答者の属性別に見ると、酒田市が好き、住みやすい、住み続けたいと考えている人が「満足している」と回答した割合はそれぞれ 8.6%、10.8%、6.7%であり、嫌い、住みにくい、移りたいと考えている人が「満足している」と回答した割合はそれぞれ 0%、2.6%、2.2%であった。

### (15)【結婚・子育て】

「未来を担う子どもの笑顔があふれるまち」の現状について

結婚・子育てについては、「満足している」が 3.7%、「どちらかと言えば満足」が 34.5%となり、合計した『満足』は 38.2%と約4割を下回った。「不満がある」は 16.4%、「どちらかと言えば不満」は 41.1%であり、合計した『不満』は 57.5%である。『不満』が『満足』を 16.4 ポイント上回っている。

結果を回答者の属性別に見ると、酒田市が好き、住みやすい、住み続けたいと考えている人が「満足している」と回答した割合はそれぞれ 6.1%、7.9%、5.4%であり、嫌い、住みにくい、移りたいと考えている人が「満足している」と回答した割合はそれぞれ 0%、0%、2.2%であった。

### (16)【健康】

「健康でいつまでも活躍できるまち」の現状について

健康については、「満足している」が 5.5%、「どちらかと言えば満足」が 50.5%と

なり、合計した『満足』は56.0%と約5割を超えた。「不満がある」は9.4%、「どちらかといえば不満」は31.7%であり、合計した『不満』は41.1%である。『満足』が『不満』を15.9ポイント上回っている。

結果を回答者の属性別に見ると、酒田市が好き、住みやすい、住み続けたいと考えている人が「満足している」と回答した割合はそれぞれ10.2%、13.7%、7.9%であり、嫌い、住みにくい、移りたいと考えている人が「満足している」と回答した割合はそれぞれ0%、2.6%、2.2%であった。

#### (17)【地域づくり】

「住民と行政の協働による地域運営ができるまち」の現状について

地域づくりについては、「満足している」が5.5%、「どちらかといえば満足」が46.1%、「どちらかといえば不満」が35.2%、「不満がある」が10.1%であった。「満足している」と「どちらかといえば満足」を合計した『満足』の割合が51.6%と、半数をやや上回る結果であった。

結果を回答者の属性別にみると、年代では20代において「満足している」が13.2%、「どちらかといえば満足」と合計した『満足』の割合においても63.2%と、他の年代と比較して満足と回答している割合が高かった。

居住地域別にみると、八幡地域において「不満がある」「どちらかといえば不満」の合計値である『不満』の割合が67.4%と最も高く、酒田地域②で38.0%と最も低かった。

また、酒田市が「嫌い」、酒田市が「住みにくい」、酒田市から「移りたい」と回答している人において「不満がある」割合が顕著に高かった（順に、50.0%、46.2%、42.2%）。

#### (18)【景観と環境】

「全員参加」でつくる美しいまちの現状について

景観と環境については、「満足している」が5.3%、「どちらかといえば満足」が52.4%、「どちらかといえば不満」が30.2%、「不満がある」が8.9%であった。「満足している」と「どちらかといえば満足」を合計した『満足』の割合が57.7%と、半数をやや上回る結果であった。

結果を回答者の属性別にみると、年代では20代および10代以下において「満足している」割合が高く（順に16.2%、14.3%）、一方80代で0.0%、60代で2.7%など年齢が上の世代において「満足している」割合が低い傾向がみられた。

居住地域別にみると、特に八幡地域において満足の割合が低く（「満足している」は0.0%）、「不満がある」「どちらかといえば不満」の合計値である『不満』の割合が高い結果であった（55.8%）。

また、酒田市が「嫌い」、酒田市が「住みにくい」、酒田市から「移りたい」と回答している人において「不満がある」割合が顕著に高かった（順に、55.0%、48.7%、40.0%）。

#### (19)【安全・安心】

「地域との連携でつくる安全・安心なまち」の現状について

安全・安心については、「満足している」が 5.7%、「どちらかといえば満足」が 43.7%、「どちらかといえば不満」が 37.4%、「不満がある」が 10.1%と、『満足』が 49.4%（「満足している」と「どちらかといえば満足」の合計値）が、『不満』47.5%（「不満がある」「どちらかといえば不満」の合計値）をやや上回る結果であった。

結果を回答者の属性別にみると、年代では 20 代および 10 代以下で「満足している」割合が高く（順に、14.7%、14.3%）、30 代および 40 代で「不満がある」割合が高い傾向にあった（順に、16.7%、12.6%）。

居住地域別にみると、いずれの地域も全体と比較すると「不満がある」「どちらかといえば不満」の合計値である『不満』の割合が高いが、特に八幡地域、平田地域、酒田地域③、松山地域において 5 割以上となっている（順に、58.1%、54.8%、54.0%、53.7%）。

また、酒田市が「嫌い」、酒田市が「住みにくい」、酒田市から「移りたい」と回答している人において、「不満がある」割合が高く（順に、45.0%、43.6%、37.8%）、酒田市が「好き」、酒田市が「住みやすい」、酒田市に「住み続けたい」と回答している人において「満足している」割合が全体と比較して高い（順に、10.2%、13.0%、9.2%）。

#### (20)【公共交通】

「暮らしの足」が維持されるまち」の現状について

公共交通については、「満足している」が 2.3%、「どちらかといえば満足」が 23.5%、「どちらかといえば不満」が 42.7%、「不満がある」が 28.9%と、『不満』（「不満がある」「どちらかといえば不満」の合計値）が 71.6%、『満足』（「満足している」と「どちらかといえば満足」の合計値）が 25.8%と、『不満』が『満足』を大きく上回った。

結果を回答者の属性別にみると、居住地域では八幡地域および松山地域において「不満がある」割合が高く（順に、48.8%、41.5%）、「どちらかといえば不満」も合わせた『不満』の合計値で見ると、八幡地域 90.7%、松山地域 85.4%と著しく高い。

また、酒田市が「嫌い」「どちらかといえば嫌い」、酒田市が「住みにくい」「どちら

かといえば住みにくい」、酒田市から「移りたい」「どちらかといえば移りたい」と回答している人において、公共交通に「不満がある」と回答する傾向が顕著に高くなっている（順に、75.0%、52.0%、82.1%、48.8%、60.0%、42.6%）。

#### (21)【八幡・松山・平田と飛島】

「八幡・松山・平田と飛島」の現状について

「満足している」が6.3%、「どちらかといえば満足」が45.2%、「どちらかといえば不満」が32.5%、「不満がある」が11.2%であり、『満足』（「満足している」と「どちらかといえば満足」の合計値）が51.5%と『不満』（「不満がある」「どちらかといえば不満」の合計値）の43.7%を上回る結果であった。

結果を回答者の属性別にみると、年代では30代および40代において「不満がある」と回答した割合が全体と比較して高い傾向にあった（順に、18.8%、20.0%）。

居住地域別にみると、本政策で対象となっている地域において不満が顕著に高い傾向にあり、「不満がある」「どちらかといえば不満」の合計値である『不満』では、松山地域70.7%、八幡地域67.5%、平田地域66.7%と、その他の地域では4割ほどの『不満』の割合であるのに対して顕著に高い結果となった。

また、酒田市が「嫌い」、酒田市が「住みにくい」、酒田市から「移りたい」ほど、「不満がある」と回答する割合が多くなっている（順に、45.0%、46.2%、40.0%）。

#### (22)【高速交通と都市機能】

「どちらかといえば不満」が41.2%であり最多、次いで「どちらかといえば満足」が27.9%であった。「満足している」（4.0%）と「どちらかといえば満足」の値を合わせた合計値『満足』の値は31.9%、「不満がある」（23.3%）「どちらかといえば不満」の値を合わせた合計値『不満』は64.5%であった。合計値『不満』が『満足』を大幅に上回った。

回答者の属性別に見ると、酒田市の住みやすさに「住みやすい」と回答した人は「どちらかといえば満足」と回答する割合が最も多かった（37.1%）一方で、「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」と回答した人は「不満がある」と答えた割合が多い（順に41.9%、66.7%）。ただし、「どちらかといえば住みやすい」と回答した人については、「どちらかといえば不満がある」と回答した割合が最多（45.5%）であった。

#### (23)【生活インフラ】

「どちらかといえば満足」が41.2%であり最多、次いで「どちらかといえば不満」が35.6%であった。「満足している」（6.3%）と「どちらかといえば満足」の値

を合わせた合計値『満足』の値は47.5%、「不満がある」(14.1%)「どちらかといえ  
ば不満」の値を合わせた合計値『不満』は49.7%であった。合計値『不満』が『満  
足』をわずかに上回った。

回答者の属性別に見ると、居住地域における属性で回答の傾向に差があった。特に  
松山地域(松山総合支所管内)では「どちらかといえは不満」(56.1%)が「どちら  
かといえは満足」(22.0%)の値を大きく上回っている。

#### (24)【行財政運営】

「質の高い行政サービスが持続的に提供されるまち」の現状について

「どちらかといえは不満」が40.2%であり最多、次いで「どちらかといえは満  
足」が36.9%であった。「満足している」(3.4%)と「どちらかといえは満足」の値  
を合わせた合計値『満足』の値は40.3%、「不満がある」(15.2%)「どちらかといえ  
ば不満」の値を合わせた合計値『不満』は55.4%であった。合計値『不満』が『満  
足』を15.1ポイント上回った。

回答者の属性別に見ると、居住地域における属性で回答の傾向に差があった。特に  
松山地域(松山総合支所管内)、八幡地域(八幡総合支所管内)では「どちらかといえ  
ば不満」の割合が「どちらかといえは満足」を大きく上回っている(松山地域:順に  
46.3%、24.4%、八幡地域:53.5%、23.3%)。酒田地域1、2、3、平田地域で  
は、ほぼ同値あるいは「どちらかといえは満足」が上回っている。